

蔵書目録

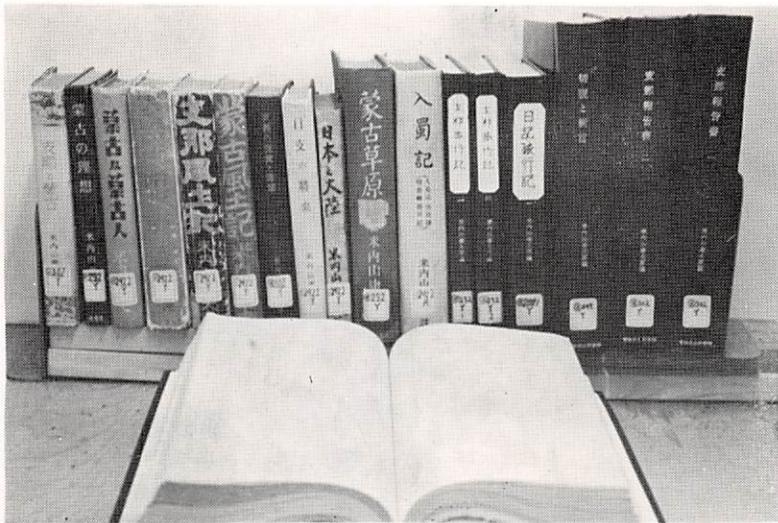
米内山文庫篇

青森県立図書館

蔵書目録

米内山文庫篇

青森県立図書館



写真説明

領事時代の米内山庸夫氏（上）と当館所蔵の
同氏の著書の一部（下）

序

青森県上北郡七戸町が生んだ、対中国外交界の先達、故米内山庸夫氏が逝いて、はやくも4年、ここに同氏の遺著、遺蔵の図書資料を含む「米内山文庫目録」を上梓することができましたことは、感慨ひとしお深いものがあります。

かえりみますと、この文庫が同氏生前のご遺志により、同氏と同郷の親友、故盛田達三氏のあっせんもあって、ご遺族の米内山初子夫人から当館へ寄贈されたのは、去る昭和44年のことでありました。それ以来、1日も早く、と心掛けながらも、整理、分類作業に追われ、特に図書そのものが中国語の白文による考古、歴史、地誌、政治、陶磁関係が多いため、解説、注記等、書誌的事項に予想外の日数がかかった次第であります。

いまこの目録を通して、広くこの文庫を公開できましたことは、時あたかも、日中両国の外交関係の一大転換を迫られている時点において、きわめて意義深いものがあります。

ねがわくは、この目録を手がかりとされて、終始日中両国の共存と平和につくされ、波乱多い82年の生涯をおえられた故米内山庸夫氏の念願をご理解いただけるならば、私の喜びはこれに過ぎるものではありません。

ここに、米内山文庫の編成と同目録上梓までの経過を申し述べると同時に、目録の解題、監修などに、格別のご尽力をいただいた弘前大学高松亨明教授のご好意に対し厚くお礼を申し上げます。

なお、目録刊行に当って折角高松先生のご指導をいただきながら中国文献に対する職員の不慣れから分類違いや、標目の不統一など不備の点が多いことを先生にお詫びすると共に、各位のご了解がいただければ幸甚です。

昭和47年2月1日

青森県立図書館

館長 高 杉 正 秋

米内山文庫解説

弘前大学教授 高 松 亨 明

米内山庸夫翁が上海の東亜同文書院に入学した1908年は、垂簾政治をほしいままにして、清朝の終焉を沃しくいろどる西太后の没した年である。そして翁が同文書院を卒業した1911年には辛亥革命の幕が切って落され、その翌1912年に清朝は遂に滅亡し、共和政体の中華民国が騷擾と混乱のうちに誕生した。日本との外交関連に於て廿一箇条問題・五世事件・済南事件などが相継いで起り、抗日の叫びが中国全土を覆うたさ中、翁は或はワシントン会議全権委員随員或は済南領事・杭州領事などを歴任した。

かくの如く風雲急なる際にあつて、外交官として時務に当面するかたわら、翁は又しばしば内陸旅行を試みている。その旅行記を読むに非常な艱難に遭遇した事も再々であるが、中国語が達者で、中国の人情風習をよく理解し、詩文に造詣深く、陶磁古玩の鑑賞眼が高く、かてて加えて絵心があった翁の事として、その記録も描写もたくまずして含蓄と迫真性に富み、内容の奇観異聞と相まって、読者に津々たる興趣を覚えさせずにおかない。

かく見来たれば、清末民初の風土風雲を無視しては翁の生涯を談ずる事は出来ないし、同時に又米内山文庫を語る事も出来ない。換言すれば文庫中に多きを占める翁の自著や未刊稿本は翁でなければ書けなかったものであり、外務省各部局の印行にかかる書類のごときは、恐らくは翁でなければ収蔵し得なかったものであろう。これが米内山文庫の最も大きな特色であり、識者の珍重するゆえんである。

米内山文庫本892点中、中国に関するもの実に700余点の多きに及ぶ。なかんづく近世、現代の中国史・中国人伝記及びアジア地理の合計は350点になんなんとし、米内山翁の関心が奈辺にあったかを何よりも雄弁に物語っている。その中特に目につくものは清末民初の革命関係30余点、太平天国関係10余点、他国の中国侵略関係8点、蒙古の歴史地理15点などである。蒐集書のこの傾向は翁の関心が古よりも今に、而して経部子部集部よりも史部にあった事を如実に示すものであり、これ又当文庫の大きな特色である。

当文庫本で今一つ筆者の心をとらえたものは、翁がたんねん克明に作成した部厚い新聞切抜き帳である。No.24の政治経済論叢第1集第2集はすべて国内新聞で、これは論説を主とし、例えば徳富蘇峰や尾崎弔堂などの名論卓説が集められている。これに対してNo.288の第3次革命資料、No.292の第4次革命資料、No.314の人物誌などはすべて中国新聞からの切抜きで

あって、事件の報道や人物の動静を主とし、どれ一つとして革命期の胎動・苦悩・息吹きを伝えざるはない。この貴重な資料を我々に残した翁の積年の心づくしは長くたたえらるべきと思う。

中国の書籍で一般にオーソドックスと目されるものに、十三経注疏・廿五史・文選・資治通鑑などその他色々あるが、米内山文庫はこれらの類を収蔵しない。然しこのようなオーソドックスなものは、どこの大学図書館にもあるし、買おうと思えば葉書1枚で入手出来る。所が米内山文庫本は仲々そうはいかない。試みに総記の中の

書目答問 風俗通義 続博物志 五雜俎 酉陽雜俎 玉芝堂談薈
近五十年見聞録 亭林隨筆 池北偶談 香祖筆記 広陽雜記
輟耕録 天竺遊記 靈隱遊記 京塵雜録

などは、悉くが希覯書と言えぬにしても、いざこれを購入しようという段になれば、我が国では無論のこと中国でもおいそれとは入手出来まい。筆者はうずたかい米内山文庫の書架を見てこれこそ滄海の遺珠と称すべきであると感じた。以下その滄海の遺珠の中から更に幾つかの珠を拾って、その光沢に触れる事にする。

注：著者或は書名の左方の番号は目録番号である。

1 張之洞 書目答問

清の張之洞(1837~1909)が同治末年提督四川学政に在任中撰したもの。学問上 useful の書を、四部と叢書と別録に分類し、各書について著者巻数を挙げる外、刻本の善悪を弁ずるなど、甚だ懇到である。当文庫本はその前半で、経部と史部である。著者は本書の略例に於て「諸生の学を好む者、来ってまさに何書を読むべきか、書は何本を以て善と為すかを問う。あまねく挙ぐるも既に註漏を嫌う。志趣学業も亦おのおの同じからず。よってこれを録し以て初学に告ぐ」としているが、初学者のみならず、専門家にも有益の書である。

4 応劭 風俗通義

事物を弁別し、時俗の誤りを正した書。流俗を正すは論衡に類し、典礼を考論するは白虎通に類す。なお当文庫本は表題は「風俗通」に作り、巻頭と版心の書名は「風俗通義」となっている。前者は略称である。

7 典林瑯環

典林とは典礼に関すること多きによっていうか。「瑯環」の二字は巻頭及び版心ではこの通りであるが、肉筆を木版にした扉と序文では二字とも女へんになっている。文字としてはこの方が正しい。天帝蔵書の処をいう。本書は筆者の調査した範囲では、どの事典・辞書・書籍解題にもない。念のため国会図書館の東洋文庫漢籍目録や東方文化研究所漢籍目録などを見たが

やはり無い。刊記は不備、序文も欠損しているので来歴のほどは正確にし難いが、とにかく珍本である。

8 段成式 酉陽雜俎

宣風坊書林版は、元禄10(1697)年、汲古閣本に訓点をつけて刊行したもの。崇文書局版は光緒元(1875)年の刊行であるが、惜しむらくは続集のみである。本書は礼異・怪術・盜俠・動植物・冥跡・肉攫など、人間界自然界の異事奇怪を録したものである。従来は詭怪不經、荒渺無稽の書として非難もされたが、近来はその怪異性がむしろ高く評価されるようになった。汲古閣本に付した毛晋の跋に曰く「此の録20巻、天上天下方内方外、所として有らざるは無し。柯古(段成式の字)は奇編秘籍多く、博学強記なり。故にその撰多く耳目の及ぶ所に非ざるなり」と。

133 陳垣 元西域人華化考

著者は中国宗教史・西域史・元代史の研究で名がある。本書は元代における西域人の華化の状況を述べた。上巻は北京大学「国学季刊」に載ったもので、緒論・儒学篇・仏老篇・文学篇から成る。下巻は燕京大学「燕京学報」に載ったもので、美術篇・礼俗篇・女学篇・結論から成り、巻末に元西域人華文著述表を附録する。

156 馮自由 中華民國開国前革命史上

著者(1882~1958)は清末の革命家で国民党の長老。日本の早稲田大学に学んだ。早くより革命運動に参画して華々しく活躍し、日中事変中は国民政府委員の職にあった。戦後蔣政権と共に台湾に移り要職に就いた。本書は上編と中編とより成り、下編は未刊に終わった。上編は「第1章中国革命の動機」に始まり、「第33章革命党とフィリピン志士との関係」に終る。著者は巻頭の大意の中に於て「本書の材料は搜集20余年にして、1字として来歴無きはなし」と言っており、用意と自負の程がうかがわれる。挿図の中には暗号電報や軍票などもあり参考価値が多い。

244 洪皓 松漠紀聞

著者(1088~1155)は南宋の人。建炎年間金に使いして抑留され、仕える様に迫られたが遂に屈せず北満の冷山に流され紹興12(1142)年赦されて還る。その間に得た金国の見聞を録したのが本書である。冷山は唐の松漠都督府の地であるところから、これを書名とした。

250 曹亜伯 武昌革命真史

前編は「黄克強(黄興の字)長沙革命の失敗」に始まり、「鉄路国有問題と武昌起義前の準備」に終る。革命志士の行動や各地蜂起の革命軍の状を叙した。正編は「辛亥10月10日武昌起義」に始まり、月日順に爾後の各地光復の状況や政局軍事の動きを述べ、「4月1日孫大總統解任」に終る。肖像・墨跡・告示・命令などの挿入図が54点の多きに及ぶ。正編では布告電文類が頻出する。

561 梁鼎芬 康有為之事實

我が国外務省調査部の用箋29枚に青インクで筆写したものの。表題「康有為之事實」の下方に「張之洞の命によって梁鼎芬撰」と朱筆してある。梁鼎芬のいかなる人物であるかは不詳。康有為の人となりから学問思想経綸に至るまで、例えば変法自強策・大同説・保国会・孔子改制説などを槍玉にあげ、公私両方面から執拗と思えるほどあくどく人身攻撃を加えたものである。康有為の戊戌変法に反対であった洞之洞の命による以上、また当然と言わざるを得ない。康有為等の自強策が、いわゆる百日変法に終わったゆえを傍証する好資料である。本書と合綴された「戊戌政変資料(白)」も亦、外務省調査部の用箋に筆写されたものである。

262 大義党迷録

清の雍正6(1728)年、曾静等が謀反をはかった。曾静は、華夷思想の立場から満洲族清朝を排斥する呂留良の思想を継承する者である。曾静を捕えた雍正帝は彼が帰仁説(本書の末尾に附載)を書いて悔罪転向したので、これを評したが、清朝統治の正統性や君臣

の大義の上から呂留良・曾静等の迷妄を覚醒せしめようとし、雍正7年に本書を刊行した。帝としては本書によって清朝の恩威をあまねく天下に顯示する積りであったろうが、次の乾隆帝に至ると反満思想に対して強い弾圧策をとり、曾静は遂に死罪に処せられ、本書もまた禁書となった。

287 葉隆礼 契丹国志

掃葉山房校刊本に拠って活版印刷した国学文庫本である。27巻。南宋の葉隆礼が勅を奉じて撰したもの。契丹(遼)の歴史を中国側史料によって紀伝体風に記述したものである。四庫提要は「その説多く伝聞に得、実を失うもの甚だ多し」などといっているが、遼金元三史の成立以前に成ったものとして、遼史研究上の重要史料である。

291 楊玉如 辛亥革命先著記

楊玉如(1877~)は本書巻頭の内容提要の中で「本書は著者が親しく自ら辛亥革命武昌首義に参加した回憶録である。全書3巻に分つ。上巻は武昌起義前の革命活動と起義の情形を叙述する。中巻は起義後革命軍政府を成立した事及び清軍との作戦状況を記す。下巻は各地が革命に響應した事、帝国主義が中国革命を破壊し、革命政府が清朝と和議した経過を分述し、北洋軍閥が革命の果実を竊み奪った事で終る。辛亥革命史を研究する参考資料とする」と述べている。著者が湖北軍政府秘書長や湖北省議会議員を歴任したせいでもあろうか、記述はどちらかと言えば両湖(なかんづく湖北)中心的である。

354 羅爾綱 忠王李秀成自伝原稿箋証

太平天国後期の指導者で忠王に封ぜられた李秀成(1823~1864)は、清軍に敗れて捕われ南京に刑死した。獄中にあった彼に曾國藩は挙兵以来の顛末を書かせ、これに刪改と部分的毀削を加えて「李秀成供」として清廷に呈出した。近年に至って曾國藩が刪改毀削する前の自筆原稿が曾の子孫宅から発見され、「忠王李秀成自伝原稿」として世に紹介された。この自伝原稿に人物・地名・文辞・筆蹟・史的事実その他もろもろについて、詳細な考証と箋正を加えたのが本書である。著者羅爾綱は本書中に於て「曾國藩は『忠王自伝』を『李秀成供』と呼んだ。反革命分子が、捕われた革命者の言つた言葉を『口供』となし、書いた言葉を『親供』となした事、これこそ反革命分子の革命者に対する侮辱の稱謂である」(40頁)といっているが、著者の基本的姿勢はこれによって知ることが出来る。

400 陳万里 西行日記

同じ本が2冊あるが、その1冊は著者陳万里から米内山翁に献呈されたもの。1925年2月アメリカのハーバード大学の考古隊が敦煌に赴いた際、北京大学研究所

国学門は、陳万里を派遣して同行調査せしめた。その年の7月に帰った著者が、旅行中の日記を整理したのが本書である。附録として(1)敦煌千仏洞の印象。(2)涇川石刻の校積と考証。(3)校碑録。(4)敦煌千仏洞・安西万仏峽・安西東千仏洞に関する官庁調査表などが載せてある。

415 范成大 吳船録

南宋の范成大(1126~1193)が淳熙4(1177)年5月四川制置使から召還され、揚子江を下って10月に盤門(蘇州)に着くまでの日記。経る所の古蹟形勝を詳らかに記述し、間々考証を加えた。陸放翁の入蜀記に対して出蜀記という。

492 周密 武林旧事

南宋の周密が宋の亡んだ後、当時の官観の盛、湖山の美、君臣遊宴の観その他もろもろの事を追述したものの。彼は武林(杭州)に流寓した事があり、その見聞は最も真確といわれる。自序の末に「一時の朋遊淪落し、晨星霜葉の如し。而して余も亦老いたり。ああ盛衰常なく、年運既に往く」ということによって著作の微意がうかがえよう。四庫提要にいう「今載する所の体例を考うるに、孟元老の東京夢華録に仿うと雖も、而も詞華典贍にして、南宋人の遺篇刺句頗る頼って以て存す」と。

499 丁文江 徐霞閣遊記

明の徐宏祖(1586~1641)は江陰の人。霞客はその号である。四庫提要には「若くして奇氣を負い、年30にして出遊す。遍ねく東南の佳山水を歴たり。呉越より閩にゆき、楚にゆき、北は魯冀燕崇洛を歴、華山に登りて帰る。旋ってまた閩より粵にゆき、又終南より峨嵋に背走し、恒山を訪ぬ。(中略)至る所すなわち文を作り、以て遊蹟をしるす。没後手稿散逸す。その友季夢良求めて之を得たれども、而も中に欠失多し云」と言っている。今伝わる徐霞客遊記は後人の編集したものであるが、これに校訂を加え更に年譜などを附したのが、丁文江の編集した本書である。その年譜中に曰く「金沙江の揚子江の上流たるを知るは先生より始まる。亦すなわち先生地理上最も重要な発見なり」(63頁)と。本書の価値以て知るべきである。なお本書下巻は米内山翁の手沢本で朱筆の批点や書入れが綺麗に入っている。

511 楊賓 柳辺紀略

仰視千七百二十九鶴齋叢書(清の趙之謙編)本に拠って活字印刷した国学文庫本である。著者楊賓は清の康熙年間の人。13歳の時父安城は張魏の獄に坐し、遼の寧古塔(ニクダ、今吉林省寧安県)の戍衛につかわされた。成人した楊賓はつぶさに艱難辛苦を経て、その地に赴いて父に侍し、父の没後その見聞を記したのが

本書である。山川の形勢・民情土俗を詳述し、上は遼金の遺蹟から下は当時の職官・城堡・軍糧の制・物産の特性に至るまで詳稽せざるはない。書名の由来については巻頭にいう「古くから辺塞では榆を植えたので榆塞という。今遼東は皆柳条を挿んで辺牆とする。高きは34尺、低きは12尺。中国本土の竹垣の如きものである。而して壕をその外に掘る。人呼んで柳条辺または糸子辺という」と。

580 梁啓超 中国魂

本書の冒頭「少年中国説」に於て著者(1873~1929)は先ず「日本人のわが中国を称するや、一にも二にも老大帝国という。この語は蓋し欧西人の言を翻訳したものである。我が中国は果して老大であろうか。我が心眼中には一つの少年中国あるのみ」と慷慨し、次いで中国積弱の原因を尋ね、世界の大勢を説き、中国人に進取冒険の性質なきを嘆じ、最後に英文を以て綴った少年進歩の歌を掲げて全編を収束する。奥書に「宣統2(1910年)6月訂正17版」ということよりすれば恐らくは光緒24(1898)年戊戌の政変に失敗して清廷を追われた後の執筆であろう。国の前途を国民の覚醒に待った啓蒙の書である。到る処一種の悲壮感がただようはそのせいであろうか。

596 黄宗義 明夷待訪録

明末清初の思想家黄宗義(1610~1695)の著。明夷は易の「箕子の明夷は貞に利あり」によったもの。乱世に於ても明徳の士は正道を守ってその道を失わぬ意を寓す。著者が世を避けて郷に居た時の著述で、「天下を以て主と為す。君は客たり」という民本主義の立場から封建的な思想や制度に鋭い批判を加えた。清末に及んで革命派の人々に非常に尊重された。

615 呉自牧 夢梁録

呉自牧は銭塘の人という事はわかっているが、他の閩歴は詳らかでない。書名は「黄梁の夢」を典故とする。序に曰く「往事を緬懐すれば殆どなお夢のごとし。名づけて夢梁録という」と。本書は北宋の首都汴京の繁華を録した東京夢華録(宋の孟元老撰)の体にならぬ、南宋臨安の事を述べ、郊廟宮殿から百工雑戯に至るまで、委曲を尽して備わらざるはない。但し四庫提要は「叙述に詳らかなれども、文采に拙に、俚詞俗字紛如たり。又夢華録の下にいず」と評している。

631 雪蕪 青樓集

目録に注した如く三著を取める。青樓集は元の黄雪蕪の撰。俳優名妓70余人の小伝を録す。青樓とは妓女の居るところをいう。板橋雜記3巻は、民末清初の人余懷の撰。南京長板橋の伎院名妓の旧聞を録す。上巻は雅遊、中巻は麗品、下巻は軼事となっている。文章悽纏以て欲を導き悲しみを増すと称せられる。

呉門画舫録は清の嘉慶年間に成る。呉門（蘇州）の妓女40余名の小伝を録したもの。

869 黎烈文 大唐三蔵取経詩話

三蔵法師と猴行者を主人公とした平話で、明代呉承恩の西遊記の藍本と見られる。作者は不明。（標目に出した黎烈文というのは標点者の名である）巻末の王国維の跋にいう「宋槧の大唐三蔵取経詩話3巻は、日本の高山寺の旧蔵本で、今は三浦將軍のところにある。

上巻の第1葉と中巻の第2・3葉が欠けている。此の書は五代平話・京本小説・宣和遺事と体例がほぼ同じ。3巻は17節に分れ、後世の章回小説の祖をなす。詩話と称しているが、唐宋士夫のいわゆる詩話とは異なる。その中に詩あり話ありでこの名を得たのである」と。わずか75頁の小冊子であるが、貴重な文献である。

目 次

0 0 0	総 記	1	4 0 0	自然科学	35
0 2 0	図書・書誌学	1	4 4 9	天文学	35
0 3 1	百科事典	1	4 5 0	地学・地質学	35
0 4 1	一般論文集・講演集	1	4 6 0	生物学・博物学	36
0 8 0	双書・全集	2	4 7 0	植物学	36
			4 8 0	動物学	36
1 0 0	哲 学	3	4 9 0	医学	36
1 2 1	東洋思想	3	5 0 0	工学・技術	36
1 5 0	倫理学	3	5 2 0	建築学	37
1 6 0	宗教	4	5 5 0	海事工学	37
1 7 0	神道	4	5 7 0	化学工業	37
1 8 0	仏教	4	5 8 0	製造工業	37
			5 9 0	家事	37
2 0 0	歴 史	5	6 0 0	産 業	37
2 0 2	歴史総記	6	6 0 3	産業総記	37
2 1 0	日本史	6	6 1 0	農業	38
2 2 0	アジア史・中国史	8	6 2 0	園芸	38
2 8 1	伝記	17	6 3 0	蚕糸業	38
2 9 0	地理	21	6 4 0	畜産業	38
			6 6 0	水産業	39
3 0 0	社会科学	29	6 7 0	商業	39
3 1 0	政治	30	6 8 0	交通	39
3 2 0	法律	32	7 0 0	芸 術	39
3 3 0	経済	33	7 0 2	芸術・総記	39
3 4 0	財政	33	7 2 0	絵画	40
3 6 0	社会学・社会問題	33	7 3 9	印章	42
3 7 0	教育	33	7 5 0	工芸	42
3 8 0	風俗習慣・民俗学	33			
3 9 0	国防・軍事	35			

768	音楽	43	900	文学	45
770	演劇	43	910	日本文学	45
790	諸芸・娯楽	44	920	中国文学	46
800	語学	44	930	英米文学	49
813	日本語	44	940	ドイツ文学	49
820	中国語	44	950	フランス文学	49
				特殊資料	49

凡 例

1. この目録は、当館蔵書目録の第12冊目のものである。
2. 本目録には、米内山文庫の全蔵書893点を収録した。
3. 本文の記載は、カード形式による分類番号順とし、同一分類番号内では、標目のアルファベット順に排列した。
4. 分類は日本十進分類法（N・D・C）新訂7版によっている。
5. 目録の記入は、日本目録規則（N・C・R）1952年版によることを原則とした。
6. 各図書の記事は、標目（著者、編者）、標題（書名等）、出版事項（出版地、出版社、出版年等）、対照事項（頁数、大きさ等）の順である。出版地が東京の場合はこれを省略した。
7. 標目（著者、書名等目録規則上の最初の見出語）はゴシック体で表わした。
8. 各図書の標目の左側の数字は、通し番号で、索引を利用しやすくした。
9. 全集、双書の内容細目は、その大部分を記載した。
10. 巻末に著者名索引を付し、その凡例は索引のはじめに記載した。
11. 字体については、原本に使用されている字体を使用すべきであるが、印刷の都合上当用漢字に置きかえたものもある。
12. 目録記述上の細部については、当館の基準によっている。

総

000 総 記

図書・書誌学

- 1 張 之洞 025-C
 書目答問
 掃葉山房 宣統1(1901)
 22丁 21cm
 注. 古今の善本の図書目録, ただし, 解題なし。
- 2 四庫全書総目 025-K
 3冊合本 18cm
 内容
 卷48~57 史部4~12
 卷58~69 史部14~25
 卷70~82 史部26~38
 注. 清の高宗の命により王大岳等が編さんした叢書・四庫全書の総目録。原本は経, 史, 子, 集の4部に分類整理した79,070巻を収めているといわれる。これはその1部。

百 科 事 典

- 3 寺島良安 031-W
 倭漢三才図会 2
 中外出版社 明治34
 774P 27cm
 内容 卷21~52
- 4 応 劭 032-O
 風俗通義
 湖北崇文書局 光緒1(1875)
 2冊 26cm
 注. 漢の応劭の編述といわれ, その内容は皇
 霸, 正失, 祀典, 怪神, 山沢等11篇に分れる。
- 5 李 石 032-R
 統博物志
 民国1(1912)
 50丁 27cm
 注. 山川, 物産, 文物, 服飾等世界万般にわた
 る百科辞書で(全400巻), これはその統編。

記

- 6 謝 肇制 032-S
 五雜俎 1~8
 7冊 27cm
 6巻欠
 注. 明の謝肇制の撰。天, 地, 人, 物, 事の
 五類に分類した百科辞書で, 天地部各2巻,
 人物事部各4巻から成る。
- 7 典林瑯環 1~12 032-T
 光緒2(1876)
 正篇6冊 続篇5冊
 続篇 第4冊欠
 内容
 正編1 目録 帝王, 政治, 封建, 分職
 2 井田, 学校, 財用, 礼制
 3 礼制, 樂制, 祭祀
 4 武備, 征賦, 天文, 歳時
 5 地理, 宮室, 飲食, 衣服
 6 器用, 物類
 続編1 天地, 天文, 歳時, 世運, 天徳
 2 天徳, 聖学, 帝王
 3 帝王, 田禄, 官爵, 礼制
 5 武備, 文学, 倫常
 6 人品, 人事, 技芸, 珍宝, 器用, 都邑
 注. 中国の百科辞書。各項出典を明示してい
 るのが持ちょう。

一般論文集・講演集

- 8 段 成式 049-D
 酉陽雜俎
 宣風坊書林版 8冊
 内容 「前集」1~20, 「続集」1~10
 崇文書局版 1冊
 内容「続集」1~10
- 9 徐 応秋 049-J
 玉芝堂談薈 2
 進歩書局
 1冊 16cm
 注. 中国古代史をもとにした考証。如来三十
 二相, 人壽四万八千歳, 一胞五男など, 珍
 談奇聞が多い。
- 10 小竹文夫 049-K
 上海三十年
 弘文堂 昭和23
 62P 18cm (アテネ文庫28)

総

- 11 貢 少芹 049-K
 近五十年見聞録 上・下巻 貢少芹 周運鏞
 吳之之 徐九香共著
 上海 進歩書局 民国17(1928)
 2冊 18cm
 注. 最近50年間に見聞した珍談奇聞集。斬竜
 虎, 巨蛇, 鬼妾, 斂女, 巨人, 奇疾, 雷異
 など。
- 12 顧 炎武 049-K
 亭林隨筆 1~2
 上海 文瑞樓
 2冊 20cm
 注. 「亭林文集」の著者, 清の顧炎武の隨筆
 集。
- 13 水野幸吉 049-M
 醉香遺芳
 大正4
 1冊 22cm
 注. 水野幸吉(1873~1913, 元駐支公使館参
 事官)の遺稿集。追懐録を付す。
- 14 王 士禎 049-O
 池北偶談
 錦章図書局 民国17(1928)
 6冊 20cm
 注. 清の王士禎の作。来客との對話をもとに
 してまとめたからこの名がある。談故, 談
 献, 談芸, 談異の4編に分けている。
- 15 王 士禎 049-O
 香祖筆記 下巻
 上海 進歩書局
 60丁 16cm
- 16 劉 猷廷 049-R
 広陽雜記
 商務印書館
 156P 19cm
 注. 広東, 広西等珠江沿岸地方の史実, 旧蹟
 人物誌。
- 17 竹内克己 049-T
 世界を描く 一五十人隨筆集—
 立命館出版部 昭和10
 563P 20cm
- 18 高橋是清 049-T
 隨想録
 千倉書房 昭和11
 503P 19cm

記

- 19 陶 南村 049-T
 輟耕録 上・下巻
 泰東図書局 民国11(1922)
 2冊 19cm
 注. 明の人陶宗儀(号南村)が記した元代
 (1300代)の雜事録。
- 20 上田恭輔 049-U
 趣味の支那叢談
 大阪屋 大正13
 399P 19cm
- 21 楊 祚昌 049-Y
 天竺遊記
 文元堂 民国13(1924)
 28P 19cm
- 22 楊 祚昌 049-Y
 靈隱遊記
 文元堂 民国13(1924)
 1冊 19cm
- 23 米内山庸夫 049-Y
 切腹と斬首
 445P 26cm(稿本)
 注. 自序に「日本人の残虐行為に対する同じ
 日本人としての私の反省録」とことわって
 いる。残虐の国, 残虐絵図, 世界の平和と
 人類の幸福の3章に分け, 日本歴史の中か
 ら残虐行為を抉出したいわば日本残虐史。
 昭和31年稿了したもののだが, これはついに
 公刊されなかったものと思われる。
- 24 政治經濟論双 1~2 049-Y
 2冊 30cm
 注. 大正年間の新聞切抜集
- 25 露珠旧史 049-Z
 京塵雜録 第1~4巻
 文書局 光緒丙戌(1886)
 2冊 16cm
 内容. 巻1 長安看花記, 巻2 辛壬癸災録
 巻3 丁年玉筍志, 巻4 夢華瑣簿
- 双書・全集
- 26 岡倉天心全集 1, 4, 5巻 081-O
 聖文閣 昭和15
 3冊 19cm
 内容 1巻 東洋の理想 支那の美術に就いて
 4巻 日本美術史

総記・哲学

- 5巻 東洋芸術論 応挙・芳崖・雅邦
日本の美術に就いて ポストン美術館の東洋芸術品に就いて 近代美術の諸問題
- 27 田能村竹田全集 全1巻 081-T
国書刊行会 大正13
522P 22cm

100 哲 学

東洋思想

- 28 津田左右吉 120-T
支那思想と日本
岩波 昭和13
200P 18cm(岩波新書3)
- 29 平田篤胤 121-H
古史徴開題記
岩波 昭和17
480P 180cm(岩波文庫)
注. 同人の先著「古史徴」第1巻を単行した
もの。原著は文政2年(1819)刊。
- 30 日本之儒教 121-N
日本儒教宣揚会 昭和11
286P 22cm
- 31 重松信弘 121-S
日本思想史通論
理想社 昭和19
276P 21cm
- 32 中山久四郎 122-N
支那の人文思想
春秋社 昭和6
256P 22cm
- 33 服部宇之吉 124-H
大学説・中庸説・論語集説・孟子定本
富山房 大正10
674P 23cm(漢文大系1)

- 34 服部宇之吉 124-H
孔子及孔子教
明治出版 大正7
432P 22cm
- 35 孔 憲蘭 124-K
聖蹟図
同治13(1864)
52丁 30×40cm
注. 孔子の事蹟を絵図で説明したもの。
- 36 孔 子 124-K
西脇玉峯編
内外出版協会 大正4
280P 22cm
- 37 支 偉成 124-S
註解晏子春秋
上海 泰東図書局 民国14(1925)
158,10P 18cm
注. 晏子春秋は斉の晏嬰の言行を後人が録した
もの。
- 38 菟田茂丸 124-T
孔子廟参拝記
平凡社 昭和16
125P 19cm
- 倫 理 学
- 39 杉浦重剛先生倫理御進講草案刊行会 150-S
倫理御進講草案 天、長、久之部
杉浦重剛先生倫理御進講草案刊行会 昭和12
3冊 22cm
- 40 桑原隲蔵 152-K
支那の孝道
桑原博士選暦記念会 昭和2
104P 26cm
- 41 梨羽時起 155-N
教育勅語義解
国民実践会 昭和2
90, 34P 22cm
- 42 武士道全書 第7巻, 別巻 156-B
井野辺茂雄他共編
時代社 昭和17
2冊 21cm
内容 7巻 告志篇(徳川斉昭) 弘道館記述
義(藤田東湖) 何傷録(真木保臣) 松下村
塾記(吉田松陰) 土規七則(吉田松陰) 大

哲 学

疑問答(有馬新七) おもひ出草(伴林光平)
伊藤潜竜訓論 武士禅機縁集 相峻峯(井上哲次郎)

別巻 兵法雄鑑妙至善卷(北条氏長) 美言殘滴(山鹿高補) 秘密要論之抄(有沢致貞) 諸士心得(同) 日本伝治乱要決(高山健貞) 日本伝守行矩(同) 君則(近藤篤) 兵家茶話(日夏繁高) 南亭余韻(上杉治憲) 細川頼之訓論 黒田如水教諭 加藤清正七ヶ条 鳥居元忠訓誨 黒田長政家法 土居利勝遺訓 島津家久訓誡 細川家訓 解説(佐伯有義)

43 柴田武修 157-S

鳩翁道話 全
偉業館 明治27
98P 19cm

注. 京都の人柴田亨(通称謙蔵,号鳩翁)の心学に関する講話を筆記したもの。編者 武修はその男。

44 洪 自誠 159-K

菜根譚講話 進藤 進編
東京書院 昭和28
442P 19cm

45 教訓名画集 159-K

講談社 昭和12
31P 26cm

宗 教

46 久保田量遠 160-K

支那儒道仏交渉史
大東出版社 昭和18
341P 20cm

注. 中国における儒・仏・道・三教の交渉史。

47 石橋丑雄 163-I

北平の薩満教に就て
外務省文化事業部 昭和9
234P 22cm

注. シャーマニズム(薩満教)に関する考証。

48 五十嵐賢隆 166-I

道教双林 太清宮志
満洲文化普及会 昭和13
287P 19cm

注. 太清宮(旧満洲国奉天所在)の歴史, 礼器, 生活等の記録。

神 道

49 笈 克彦 171-K

神ながらの道
岩波 昭和18
680P 21cm

仏 教

50 常盤大定 180.2-T

支那仏教の研究 第2.3
春秋社 昭和18
2冊 22cm

51 山田玉田 180.29-Y

祖蹟巡拝記
真光院 大正15
275P 20cm

注. 著者(宇治黄檗山真光院主)が同山祖師 隠元禪師の故地, 台湾, 支那, 満鮮を巡拝する。

52 仏教辞典 東方書院編集部編 180.3-B

東方書院 昭和7
1125P 22cm

53 高山喜内 183-T

国訳百喻経
国民社 大正11
100P 27cm

注. 大蔵経の中から百喻経を取りあげ邦訳したもの。

54 慧 能 184-K

六祖法宝檀経
京都 林伝左衛門尉 万治2(1659)
37丁 27cm

注. 六祖大師が中国韶州の大梵寺において説きし法を門人が記したもの。

55 深谷博道 185-F

修禅寺夜話
修禅寺出版社 昭和15
135P 17cm

56 ライシャワー, E, O 188.4-R

世界史上の円仁 一唐代中国への旅一
実業の日本社 昭和38
318P 21cm

宗 教 ・ 歴 史

キ リ ス ト 教

- 57 比屋根安定 190.2-H
支那基督教史
生活社 昭和15
324 P 20cm
- 58 聖書. 旧約. 新約 193-S
旧新約全書
米国聖書会社 明治37
1646, 474 P 20cm
- 59 聖書. 新約 193-S
新約全書
米国聖書会社 明治37
760 P 16cm
- 60 バ ッ チ 198-B
景教僧の旅行誌 佐伯好郎訳
春秋社 昭和18
1冊 21cm

200 歴 史

歴 史 総 記

- 61 駒井和愛 202-K
考古学入門
要書房 昭和29
161 P 19cm
- 62 周 懋琦 202-S
荆南萃古編 劉瀚共編
塘周氏鴻宝署齋刊本 光緒20 (1894)
2冊 (合本) 33cm
- 63 スタイン, オーレル 202-S
中央亜細亜の古跡
朝日新聞社 昭和16
282 P 19cm(大陸双書 第7巻)

- 64 滝口 宏 202-T
古代の探求 —現代の考古学—
社会思想研究会 昭和33
195 P 16cm
- 65 支那地理歴史大系 4 支那政治上 202.2-S
白揚社 昭和16
514 P 19cm
- 66 考古学講座 1~5 202.5-K
雄山閣
5冊 22cm
内容
1 欧洲旧石器時代(大山柏), 欧洲新石器時代(宮坂光次), 民族論(清野謙次)
2 地質及古生物(佐藤伝蔵), 付録人骨測定表(清野謙次)
3 貨幣(三上香哉), 神社と考古学(宮地直一), 神代ながらの新嘗御神祭(関根正直), 紋章学(沼田頼輔)
4 考古学研究法(浜田耕作), 先史時代遺跡(八幡一郎), 史蹟と考古学(柴田常恵), 支那考古学に関する最近の諸発見(石田幹之助), 米国収蔵の支那遺物の二三(原田淑人), 城郭及城址(大類伸, 鳥羽正雄), 古代建築(伊東忠太)
5 上古の工芸(後藤守一), 金工史(香取秀真), 漆工史(六角紫水), 日本陶磁器史概説(奥田誠一), 古代支那の金属文化(中村久四郎)
- 67 河村貞山 203.2-K
和漢洋年契
文求堂 明治38
49丁 27cm
注. 日本. 中国. 西洋対照年表。
- 68 徳富猪一郎 204-T
歴史の興味
民友社 昭和5
364 P 19cm
- 69 山中謙二 209-Y
西洋史概説
至文堂 昭和19
464 P 21cm
- 70 コットレル, レナード 209.3-K
古代の不思議 矢島文夫訳
紀伊国屋書店 1962
236 P 18cm

歴 史

日 本 史

- | | | | | | |
|----|---|----------|----|---|---------|
| 71 | 中村孝也
日本文化史要
好学社 昭和24
240P 21cm | 210-N | 81 | 内田良平
日本之重細画
黒竜会 昭和7
350P 22cm | 210.1-U |
| 72 | 大町芳衛
日本文明史
博文館 明治37
302P 23cm | 210-O | 82 | 樋口清之
日本人の起源
有紀書房 昭和38
222P 19cm | 210.2-H |
| 73 | 笹川種郎
講説 日本文化史
高陽書院 昭和16
292P 19cm | 210-S | 83 | 久野 健
土器とはにわ
美術出版社 1955
61P 18cm | 210.2-H |
| 74 | 薄田貞敬
明治太平記 下
早稲田大学出版部 大正2
562P 23cm (通俗日本全史19) | 210-S | 84 | 村井崑雄
土器とはにわ
社会思想研究会 昭和35
142P 15cm | 210.2-M |
| 75 | 大場鶴雄
日本考古学概説
日東書院 昭和9
228P 22cm | 210.02-O | 85 | 水野梅暁
日支交通の資料的考察
支那時報社 昭和6
128P 22cm | 210.3-M |
| 76 | 小泉信三
支那事変と日清戦争
慶応出版社 昭和12
76P 19cm | 210.04-K | 86 | 西村真次
日本古代社会
ロゴス書院 昭和3
416P 22cm | 210.3-N |
| 77 | 遠藤元男
日本歴史入門
三笠書房 昭和17
369P 19cm | 210.1-E | 87 | 植木直一郎
新訂 古訓古事記
時代社 昭和18
212P 21cm | 210.3-U |
| 78 | 中村孝也
日本文化史要
大日本教化図書KK 昭和17
303P 21cm | 210.1-N | 88 | 山田孝雄
古事記概説
中央公論社 昭和15
203P 22cm | 210.3-Y |
| 79 | 頼 久太郎
日本外史
岡村書店 大正9
724P 19cm | 210.1-R | 89 | 蒙古寇紀
長村 鑒
24cm
注. 神皇正統記, 元亨釈書, 五雑俎等43種の史料にもとづく蒙古来攻記。原著は長村鑒が文化13(1816)年の編述。 | 210.4-O |
| 80 | 辻 善之助
海外交通史話
内外書籍 昭和5
816P 22cm | 210.1-T | 90 | 池田昇洲
徳川幕府時代史
早稲田大学出版部 明治40
1003P 23cm | 210.5-I |

歴		史		
91	川島元次郎 朱印船貿易史 巧人社 昭和15 616P 22cm	210.5-K	102 日露合戦記 1—4 大阪新報社 昭和37—38 合冊4冊 19cm	210.6—N
92	峰岸米造 日本近世百年史 東華書房 昭和19 294P 19cm	210.5-M	103 及川源七 趣味の日清日露戦史 江戸書院 大正15 462P 22cm	210.6—O
93	朝日新聞社 世界と日本 1879~1954 昭和29 154P 30cm	210.6-A	104 菅原佐賀衛 北清事变史要 借行社 大正15 131P 20cm	210.6—S
94	軍令部 日本海大海戦史 内閣印刷局 昭和10 284P 22cm	210.6-G	105 白柳秀湖 明治大正国民史 憲政樹立編 千倉書房 昭和15 522P 19cm	210.6—S
95	羽仁五郎 明治維新 一現代日本の起源— 岩波 昭和21 177P 19cm	210.6-H	106 多門二郎 征露の凱歌 文淵閣 昭和18 631P 19cm	210.6-T
96	穂波徳明 征清戦史 上巻 大日本中学生会戦史部 明治33 924P 22cm	210.6-H	107 帝国史談会 天下変遷七十余年近世歴史 天正堂 大正14 64P 22cm	210.6-T
97	博文館 夙都三十年 博文館 明治31 330P 23cm	210.6-H	108 坪谷善四郎 青島戦記, 北清観戦記 戦記名著刊行会 昭和5 444P 20cm	210.6-T
98	伊藤正徳 軍閥興亡史 1 文芸春秋新社 昭和38 390P 19cm	210.6-I	109 早稲田大学編輯部 日露戦役史 前後編 明治39 2冊 22cm	210.6-W
99	鬼雄外史 絵本日清戦闘実記 今古堂 明治27 81P 22cm	210.6-K	110 山名正二 満洲義軍 満洲社 昭和17 695P 19cm	210.6-Y
100	明治文化全集 6 外交篇 日本評論社 昭和5 572P 22cm	210.6-M	111 林 房雄 大東亜戦争肯定論 番町書房 昭和39 263P 20cm	210.7-H
101	沼田多稼蔵 日露陸戦新史 岩波 昭和17 225P 18cm	210.6-N	112 満田 巖 昭和風雲録 新紀元社 昭和17 525P 19cm	210.7—M

歴

- 113 支那事変資料 210.7-S
東亜同文会 昭和14
171P 22cm
- 114 津田元徳 210.7-T
満洲事変秘史
満洲文化協会 昭和9
854P 19cm
- 115 米内山庸夫 210.7-Y
満洲事変資料
(米内山庸夫稿本) 26cm
注. 満洲事変関係日本政府公表集, 同事変に
関する支那側の態度, 「戊戌政変前後に於
ける見聞一斑」(中島雄)等を含む。
- 116 土佐烈士殉難賜死実録 218-T
本山妙国寺 昭和7
104P 22cm
注. 明治元年, 泉州堺で起きた土佐藩兵と仏
国海兵との紛争事件と, 責を負い自決した
土佐藩士の事蹟を述べる。

ア ジ ア 史

- 117 橋本増吉 220-H
東洋史講座 第1期
国史講習会 大正15
548P 22cm
- 118 飯沼一之 220-I
アジア文明の源流
日本放送出版協会 昭和40
270P 20cm
- 119 池内 宏 220-I
東洋史論叢
岩波 大正14
904P 22cm
- 120 石川三四郎 220-I
東洋古代文化史談
不尽書院 昭和14
267P 22cm
- 121 市村瓊次郎 220-I
東洋史要
吉川弘文館 大正13
347P 19cm

史

- 122 市村瓊次郎 220-I
東洋史統 巻2, 3, 4
富山房 昭和18
3冊 21cm
- 123 桑原博士還暦記念祝賀会 220-K
東洋史論叢
弘文堂 昭和6
1368P 26cm
- 124 中村久四郎 220-N
東洋史講座 第2期
国史講習会 大正15
572P 22cm
- 125 清水泰次 220-S
東洋史原論
早稲田大学出版部 昭和25
274P 22cm
- 126 三省堂 220-S
南方文化講座 歴史篇
昭和18
511P 22cm
- 127 東洋文化史大系 2 漢魏六朝時代 220-T
誠文堂 昭和13
361P 26cm
- 128 東洋史講座 第3期 自蒙古之勃興至明末 220-T
高桑駒吉著
国史講習会 大正15
506P 21cm
- 129 東洋史講座 第4期 自清朝初世至現代 220-T
松井等著
国史講習会 大正15
520P 22cm
- 130 和田 清 220-W
東亜史論叢
生活社 昭和17
579P 22cm
- 131 喜田貞吉 221-K
韓国の併合と国史
三省堂 明治43
182P 23cm
- 132 青木文教 222-A
西藏文化の新研究
有光社 昭和15
283P 22cm

中 国 史

歴

- 133 陳 垣 222-C
元西域人華化考 上・下巻
北京大学国季刊編輯会
64P 26cm
- 134 貝 華 222-B
中国革命史 中村常三訳
学芸社 昭和17
254P 19cm
- 135 バルデルゼー 222-B
瓦德西（バルデルゼー）拳乱筆記 王光祈訳
中華書局 1928（昭和3）
174P 22cm
注．義和団事件（拳乱とも）の時（1899～1901）
連合軍側の統帥であった瓦德西（バルデル
ゼー）の同事件に関する日記（1900～1901）
- 136 季 林 222-R
拳禍記 上・下巻
土山湾印書館 光緒31（1905）
2冊 22cm
注．拳匪（義和団）の起りと、義和団事件
（別名・北津事変・1899～1901）のてんま
つ書。
- 137 中華新報館 222-C
護国軍記事 第1, 3, 4期
上海 泰東図書局 民国5（1916）
3冊 22cm
注．辛亥革命（1911）から第3次革命（1915）
頃まで、中国の内乱を述べる。
- 138 筑摩書房編集部 222-C
ゆらぐ中華帝国
1961
323P 22cm（世界の歴史11）
- 139 陳 克強 222-C
天声人語
守培書局 中華民國元年（1912）
29丁 18cm（新世三一）
注．第2次革命に関する宣言、布告、祝辞な
どを集めたもの。
- 140 陳 沂春 222-C
滿清二百年來失地記 下巻
神州復社 宣統3（1911）
200P 22cm
- 141 陳 崇祖 222-C
外蒙古独立史 陳崇祖著 古川園重利訳
生活社 昭和14
267P 22cm

史

- 142 西藏研究会 222-C
西 藏
嵩山房 明治37
166P 23cm（東洋双書 第3編）
- 143 大亜文化会 222-D
孫文革命戦史
連合出版社 昭和18
246P 18cm
- 144 ドーソン 222-D
蒙古史 田中萃一郎訳
三田史学会 昭和8
734P 22cm
- 145 衛 聚賢 222-E
古史研究
新月書店、述学社 1928～1929
2冊 19cm
- 146 外務省調査部 222-G
アルタン、トブチ
107P 26cm
注．書名アルタン・トブチ（Altan-tobci）は
「黄金史」の蒙古語。伝承、説話、歌謡、
史実等を織り込んだ蒙古古代史。訳注は外
務省嘱託小林高四郎。
- 147 顔 昌峽 222-G
中国最近百年史
上海太平洋書店 民国18（1929）
222P 19cm
- 148 臥 雪 222-G
共和新世界 一 2次革命之理由一
小説支売社 中華民國2（1913）
60P 18cm
付・南北戦記之真相
- 149 魏 源 222-G
聖武記 興亜院政務部訳
生活社 昭和18
802P 22cm
注．清の魏源（1786～1856）撰。原著は全14
巻、官書、私家史料、伝承から取材した清
代の通史。
- 150 凌 善清 222-R
太平天国野史
文明書局 民国18（1929）
1冊 22cm
注．清朝に抗して洪秀全等が起した革命
（1851—64）に関する戦史。

歴

史

- 151 吳 會祺 222-G
 清史綱要 2, 3, 4, 5, 6
 商務印書館 民国14 (1925)
 5冊 21cm
- 152 元朝秘史 222-G
 李 文田注
 141P 20cm
- 153 後藤末雄 222-G
 支那四千年史
 第一書房 昭和16
 389P 19cm
- 154 服部宇之吉 222-H
 北京籠城日記
 昭和14
 164, 39P 22cm
- 155 浜田青陵 222-H
 東亞文明の黎明
 創元社 昭和17
 98P 19cm
- 156 馮 自由 222-H
 中華民國開国前革命史 上卷
 革命史編輯社 民国17 (1928)
 322P 21cm
- 157 半 粟 222-H
 中国六十年大事記
 太平洋書店
 674P 20cm
- 158 林 泰輔 222-H
 支那上代之研究
 光風館 昭和2
 522P 22cm
- 159 橋川時雄 222-H
 異国物語
 三秀舎 昭和10
 92丁 24cm
- 160 ヒルト, フリドーリッヒ 222-H
 支那古代史 F.ヒルト著 西山栄久訳
 丙午出版 昭和4
 412P 22cm
- 161 平川清風 222-H
 支那共和史
 春申社 大正9
 868P 22cm

- 162 ヒューズ, E・R 222-H
 西洋文化の支那侵略史 E・R・ヒューズ著 魚
 返善雄訳
 大阪屋号書店 昭和19
 470P 22cm
- 163 馮 為岳 222-H
 中華民國大事記
 共和書局
 135P 20cm
- 164 市村瓚次郎 222-I
 支那史
 吉川弘文館 明治32
 1冊 22cm
- 165 五十川訥堂 222-I
 清名家史論鈔
 香芸堂 1865
 42, 40丁 19cm
- 166 池内 宏 222-I
 満鮮史研究 中世1
 星文館 昭和8
 704P 22cm
- 167 今西春秋 222-I
 満和对訳 満洲実録
 日満文化協会 昭和13
 390P 27cm
- 168 石山福治 222-I
 清朝及其革命党
 奉公会 明治44
 190P 22cm
- 169 稲葉君山 222-I
 清朝全史 上巻
 早稲田大学出版部 大正3
 804P 22cm
- 170 稲葉君山 222-I
 近世支那十講
 金尾文淵堂 大正5
 496P 20cm
- 171 稲葉岩吉 222-I
 満洲発達史
 日本評論社 昭和10
 584P 22cm
- 172 稲葉岩吉 222-I
 新東亜建設と史観
 千倉書房 昭和14
 275P 20cm

歴

- 173 稲葉君山 222-I
近代支那史
大阪屋号書店 大正9
528P 22cm
- 174 岩村三千夫 222-I
中国現代史 野原四郎共著
岩波 1964
229P 18cm
- 175 徐 怡 222-J
淞滬禦日戦史
民族教育社 民国21(1932)
46P 20cm
注. 上海事変(1932)の中国側戦史。
- 176 ジョンストン, レチナルド, エフ 222-J
禁苑の黎明 荒木武行訳
大樹社書房 昭和9
660P 19cm
注. 辛亥革命(1911)前後の清朝の秘史。著者は清朝最後の宣統帝の師傅であった人。
- 177 金井之忠 222-K
清末70年史
弘文堂 昭和17
139P 18cm
- 178 貝塚茂樹 222-K
中国の歴史 上巻
岩波 1964
220P 18cm
- 179 風間 卓 222-K
近世中華民国史
双文閣 昭和14
369P 22cm
- 180 鴻 隠生 222-K
安福趣史
宏文図書館 民国9(1920)
92P 21cm
注. 段祺瑞(1865~1936)派の政党・安福派に関する一通俗史。
- 181 北村佳逸 222-K
戦国策解説 一権謀外交論—
立命館出版部 昭和13
232P 22cm
注. 戦国時代(BC4~3世紀)の史実をまとめた戦国策(伝・漢の劉向編)のこれは邦訳。

史

- 182 姜 佚魂 222-K
五朝稗史
大一統書局 民国17(1928)
188P 22cm
注. 唐, 宋, 元, 明, 清5代にわたる史料集。
- 183 近代中国研究委員会 222-K
李鴻章奏議目録
近代中国研究委員会 1955
105P 25cm
注. 李鴻章(文忠)が関係した外交文書の目録, おおむね同治元(1862)年から光緒20(1894)年まで。
- 184 金 家瑞 222-K
義和団運動
人民社 1957
187P 19cm
- 185 北 一輝 222-K
支那革命外史
聖紀書房 昭和16
426P 19cm
- 186 北村三郎 222-K
支那帝国史 上・下巻
博文館 明治33
2冊 20cm
- 187 胡 寄塵 222-K
清季野史
上海広益書局 民国2(1927)
56P 22cm
- 188 高 博彦 222-K
中国近百年史綱要 上巻
北平文化学社 1930
322P 22cm
- 189 顧 頡剛 222-K
支那疆域史 中尾雄一訳
人文閣 昭和18
327P 20cm
- 190 広西省太平天国文史調査団 222-K
太平天国起義調査報告
三聯書店 昭和31
134P 21cm
- 191 桑原隲蔵 222-K
東洋史説苑
弘文堂 昭和4
543P 22cm

- | | 歴 | 史 | | |
|-----|--|-------|--|-------|
| 192 | 蔵居良造
近代中国史
紀伊国屋書店 1965
212P 18cm | 222-K | 203 南満洲鉄道株式会社
国民革命の現勢、浙江財閥
南満洲鉄道株式会社 昭和4
108, 146P 21cm | 222-N |
| 193 | 裴毓 磨
清代軼聞 1—4
中華書局 民国17 (1928)
4冊 19cm | 222-K | 204 内藤順太郎
大總統・黎元洪一支那革命史—
新聞の新聞社 大正6
248P 22cm | 222-N |
| 194 | 村松梢風
上海事変を語る
平凡社 昭和7
245P 19cm | 222-M | 205 南渡稗史
六芸書局 民国17 (1928)
96P 19cm
注. 宋の康王が臨安 (いまの浙江省杭州) に
僉都以来の故実を集める。 | 222-N |
| 195 | 満鉄北京公所研究室
反奉戦乱誌 (民国14年)
南満鉄道KK北京公所研究室 大正15
163P 22cm | 222-M | 206 仲小路 彰
北清事変
戦争文化研究所 昭和14
325P 22cm | 222-N |
| 196 | 松嶋宗衛
清朝末路秘史
大正14
271P 23cm | 222-M | 207 中西 功
武漢に於ける革命と反革命 西里竜夫共著
民主評論社 昭和23
217P 19cm | 222-N |
| 197 | 松井広吉
英仏聯合 征清戦史
博文館
304P 19cm | 222-M | 208 那珂通世
那珂東洋小史
大日本図書 明治36
340P 22cm | 222-N |
| 198 | 馬憂爾尼
乾隆英使謁見記 劉 半儂訳
中華書局 民国8 (1919)
208P 15cm
注. 乾隆58 (1793) 年, 訪清した英使, 馬憂
爾尼の旅行記。 | 222-M | 209 那珂通世
成吉思汗実録 全
筑摩書房 昭和18
591P 21cm | 222-N |
| 199 | 南満洲鉄道株式会社
中華民国第十年史
大正11
480P 23cm | 222-M | 210 西本白川
現代支那史的考察
春申社 大正11
364, 72P 20cm | 222-N |
| 200 | ミ フ
中国革命 外務省東亜局第二課訳
外務省東亜局 昭和9
555P 22cm | 222-M | 211 西田 保
左宗棠と新疆問題
博文館 昭和17
302P 20cm | 222-N |
| 201 | 水野清一
雲岡石窟とその時代
富山房 昭和14
180P 19cm | 222-M | 212 小山田剣南
征塵録
中野書店 明治37
149P 22cm
注. 小山田淑助の中国旅行記。初めて大陸に
遊ぶ, 西征記, 南征記, 殉難六烈士等6篇
を収める。 | 222-O |
| 202 | 長野 朗
国民革命全史
坂上書院 昭和12
390P 20cm | 222-N | | |

- | 歴 | | 史 | |
|-----|--|-------|--|
| 213 | 王 船山
宋朝史論 松井 等, 前川三郎訳
平凡社 昭和6
492P 19cm | 222-O | |
| 214 | 小山愛司
満洲地之略沿革記・満文研究録 上・下巻
信濃史源考編纂所 昭和7
2冊 24cm | 222-O | |
| 215 | 王 理堂
中国歴代大事記
大東書局
150P 19cm | 222-O | |
| 216 | 羅 爾綱
太平天国文物図解
三連書店 1956
304P 22cm
注. 清の文宗の時(1851~'1864), 洪秀全を首領とする反清政府・太平天国の文物, 制度, 芸術に関する資料の図解。 | 222-R | |
| 217 | 羅 爾綱
太平天国史料弁偽集
新華書店 昭和30
138P 20cm | 222-R | |
| 218 | 李 培生
桂系擧粵之由来及其経過
芸苑印刷所 民国10 (1921)
138P 25cm
注. 中華革命(1912)以後, 中国内戦を述べる。 | 222-R | |
| 219 | 李 泰葵
中国近百年史 1. 2. 3
商務印書館 民国13 (1924)
3冊 19cm | 222-R | |
| 220 | 李 一塵
太平天国革命運動史
光華書局 1930
163P 20cm | 222-R | |
| 221 | 陸軍文庫
仏国陸軍・清国遠征日誌付図
明治16
6図 27cm
注. アロー戦争(1856~ 1860 清国対英・仏戦争)における仏軍の戦略図。 | 222-R | |
| 222 | 羅 爾綱
太平天国史事考
新華書店 昭和30
359P 20cm | 222-R | |
| 223 | 陸 翹
鄴中記
乾隆41 (1776)
13丁 27cm
注. 三国時代の魏の都・鄴に関する記録。 | 222-R | |
| 224 | 陸 光宇
中国近世史
文化学社 民国19 (1930)
208P 21cm | 222-R | |
| 225 | 黎 烈文
大宋宣和遺事
商務印書館 民国15 (1926)
36P 19cm
注. 宣和, 靖康, 建炎期(12世紀初)の宋の事蹟を述べる。 | 222-R | |
| 226 | 劉 悲盒
広東新軍反乱本末
1冊 20cm | 222-R | |
| 227 | 来 新夏
第一次国内革命戦争史論集
新華書店 1957
166P 19cm | 222-R | |
| 228 | 歴城県志 卷23 金石集
1冊 24cm
内容. 魏の時代以降の中国金石文集(山東省 済南地方)。 | 222-R | |
| 229 | 錢塘恨史
六芸書局 民国19 (1930)
20P 19cm
注. 建炎復辟記, 臨安旬制紀, 翠微亭題名攷, 潯王佚事の4編を収める。いずれも錢塘地方(浙江省)の古史。 | 222-S | |
| 230 | 周 燾
清波雜誌 上巻
進歩書局
1冊 16cm | 222-S | |
| 231 | 渋川玄耳
岱嶂雜記
新光社 大正14
156P 19cm
注. 主として中国に取材した隨筆。他に歌集を付す。
山東省泰山登頂記が主である。 | 222-S | |

歴 史

- 232 清朝革命史資料 222-S
67P 26cm
(米内山庸夫稿本)
注. 副題—光緒帝及西太后崩御, 並袁世凱の免官。明治41~44年(1908~1911)まで中国革命に関する外交情報の手控。
- 233 濟南事件を中心として 222-S
山東新報社 昭和3
282P 19cm
- 234 左 舜生 222-S
中国近百年史資料 初編 上・下巻
上海中華書局 民国19(1930)
2冊 23cm
- 235 戦国策 和訳 222-S
明治43
605P 19cm
注. 漢の劉向が編述したといわれる, 中国の史書。おおむね周代から秦代に至る。
- 236 佐々木到一 222-S
南方革命勢力の実相と其の批判
極東新報社 昭和2
419P 19cm
- 237 佐野袈裟美 222-S
支那近代百年史 上巻
白揚社 昭和14
519P 22cm
- 238 佐野 学 222-S
農民暴動 第2集 海寇・捻・拳匪
文求堂 昭和22
132P 18cm
- 239 佐竹一三 222-S
中国歴史上に於ける漢民族の地位
昭和6
24cm(写本)
- 240 支那歴史資料 222-S
合本 22cm
漢民族と北方民族の接触における諸様相(志智嘉九郎), 金代中期に於ける女真文化の作興運動(三方次男), 古代漢文を基礎とする言語学の一科(浜名寛祐), 漢字に現れたる支那古代文化(角田貞次), 支那寺觀の現状に就て(福井康順), 広東十三行図説(武藤長藏), 中支汗漫遊話(今関天彭), フルンブイル地方の考古学的遺跡(三上次男), 先史時代ノ熱河(外務省文化事業部), 余ノ極東觀(ブランド), 支那本
- 土の原住民は日本朝鮮滿洲同族である(岩佐善太郎), 金初の都統司及軍師司(三上次男), 古代北東アジアの諸民族(三上次男), 金初の勃極烈に就いて(三上次男)
- 241 斎藤正雄 222-S
鴉片始末
随鷗吟社 昭和12
17丁 24cm
注. 主としてアヘン(鴉片)戦争(1840~1842)のてんまつを描く。
- 242 清朝革命史 222-S
国維報館 19cm
- 243 支那近代史資料 第1, 2集 222-S
2冊 21cm
内容. 第1集
華僑の現勢(通商局第二課), 西安事變の全貌(東洋協會調査部), 蘆溝橋事件の経過概要(同前), 下村台湾民政長官述(同前), 山東出兵の効果と支那南北軍対峙の現況(山田司海), 中華民國憲法(外務省情報部), 新支那の指導精神(啓明会), 臺中談天(檜崎桂園), 支那憲政問題(東洋協會調査部)
第2集
北支に於ける文教の現状(興亜院華北連絡部文化局), 中華民國与聯邦組織(呉興戴伝賢)支那の省憲法並聯省自治に就て(三菱合資会社資料課), 西安事變後の中国共産軍の動勢(東洋協會調査部), 民国の約法と国会(満鉄社長室調査課), 支那の司法制度(同前), 民国内閣交代史(同前), 支那軍隊の情況(同前), 最近支那政情(同前), 国民党第三回中央執行委員会第三次全体會議(南滿洲鉄道株式会社上海事務所研究室), 中華党国の裸体を見よ(白逾桓)
- 244 洪 皓 222-K
松漢紀聞
民国22(1933)
50P 19cm
注. 女真, 契丹, 金等中国古代史に関する資料集
- 245 清代野記 上・下巻 222-S
上海進歩書局 民国17(1928)
2冊 19cm(稗史双書の6)
- 246 謝 山遺 222-S
康熙南巡秘記
中華書局 民国17(1928)
124P 20cm

歴		史	
247	商務印書館 新体中国歴史 民国元年(1940) 87P 22cm	222-S	
248	支那歴史地理 白揚社 昭和17 404P 19cm (支那地理歴史大系3)	222-S	
249	孫 曜 中華民國史料 上・中・下 文明書局 民国18(1929) 3冊 23cm	222-S	
250	會 亜伯 武昌革命真史 前編, 正編 魚住書店 大正4 109P 20cm	222-S	
251	會 先之 十八史略 高橋光正編 魚住書店 大正4 109P 20cm	222-S	
252	荘 病骸 外交思痛録 272P 22cm	222-S	
253	園田一亀 清朝皇帝東巡の研究 大和書院 昭和19 276P 22cm	222-S	
254	鐘 毓竜 新制・本国歴史参考書 中・下巻 中華書局 民国4(1915) 2冊 22cm	222-S	
255	齋 一山 清代通史 上巻 商務印書館 民国20(1931) 892P 22cm	222-S	
256	スウキンホー, ゼームス 北支那戦争記 巻1~3 箕作麟祥訳 明治7 179P 19cm	222-S	
257	周 耶 太平軍在揚州 人民出版社 1957 1冊 20cm	222-S	
258	高山洋吉 蒙古近世史 東学社 昭和12 486P 22cm	222-T	
259	太平天国外紀 上・中・下巻 林 利著 孟 憲承訳 商務印書館 民国15(1927) 3冊 20cm	222-T	
260	滝川政次郎 滿支史説史話 日光書院 昭和14 393P 20cm	222-T	
261	太平天国鉄関 上海進歩書局 民国17(1928) 4冊 20cm	222-T	
262	大義覚迷録 仁社書局 251P 23cm 注. 中国歴代帝王の事蹟を主とし, その尊厳性を顕示したもの。	222-T	
263	高木健夫 続・中国風雲録 錦書房 昭和31 298P 18cm	222-T	
264	高桑駒吉 支那文化史講話 共立社 大正13 524P 22cm	222-T	
265	鳥山喜一 東洋史観 宝文館 昭和16 403P 22cm	222-T	
266	徳 菱 迷宮記 佐藤知恭訳補 日東堂 大正4 244P 19cm	222-T	
267	鳥山喜一 黄河の水 支那小史 刀江書院 昭和15 325P 20cm	222-T	
268	徳富蘇峰 七十八日遊記 民友社 明治44 347P 19cm	222-T	

歴 史

- 269 鳥山喜一 222-T
 渤海国小史
 満日文化協会 康德6(1939)
 148P 19cm
- 270 大清穆宗毅皇帝実録 222-T
 178P 26cm
- 271 立花政一郎 222-T
 関東州原始拾遺 全
 大連 大阪屋号書店
 59P 23cm
- 272 内田吟風 222-U
 古代の蒙古
 富山房 昭和15
 159P 19cm
- 273 上野菊爾 222-U
 東洋文化史
 克明堂 昭和10
 449P 22cm
- 274 上野閑雲 222-U
 大清興亡史
 修学堂 明治45
 408P 40cm
- 275 ウィッター 222-W
 李鴻章遊俄紀事 王光祈訳
 東南書店 民国17(1928)
 140P 19cm
 注. 清の李鴻章が露西亜を訪問外交折衝した事情を述べる。著者は当時露国財政大臣、のち対日媾和会議の全権。
- 276 222-W
 Why there are two governments in China
 New York, China Trade Bureau, [n.d.]
 18P 23cm
 注. なぜ支那に二つの政府があるのか。
- 277 ウィール 222-W
 北京籠城 上・下巻 清見陸郎訳
 生活社 昭和18
 2冊 20cm
- 278 米内山庸夫 222-Y
 南京事件
 (米内山庸夫稿本)
 26cm
 注. 南京事件(昭和2年)に関する著者の調査報告原稿。
- 279 箭内 瓦 222-Y
 蒙古史研究
 刀江書院 昭和5
 989P 24cm
- 280 米内山庸夫 222-Y
 越南滇蜀記—上海, 河内, 雲南, 四川, 南京—
 明治40~43年
 1冊 26cm (写真集)
- 281 米内山庸夫 222-Y
 蒙古の理想
 改造社 昭和17
 288P 18cm
 注. 「蒙古風土記」「蒙古草原」につづいた蒙古3部作の結論篇ともいえる著述。緒言蒙古及び蒙古人, 蒙古人の生活, 蒙古の理想, 草原の夢の5章に分れている。
- 282 米内山庸夫 222-Y
 新疆資料—稿本
 26cm
 注. 「新疆旅行記」(昭和8年当時, 天津大公報記者李天織), 「新疆に於ける民族」(エム・ガサーニン), 「新疆に於ける回教徒の反乱」(小川書記生), 「新疆開発問題」(羅文漢)等を転写。
- 283 矢野仁一 222-Y
 近代支那史
 弘文堂 昭和2
 561P 22cm
- 284 矢野仁一 222-Y
 近代蒙古史研究
 弘文堂 昭和3
 468P 22cm
- 285 矢野仁一 222-Y
 支那の歴史と文化 内藤雋輔共著
 目黒書店 昭和16
 384P 19cm
- 286 楊 逸棠 222-Y
 太平天国之研究
 新中国書店 1930
 231P 19cm
- 287 葉 隆礼 222-Y
 契丹国志 上・下巻
 文殿閣 民国27(1938)
 2冊 20cm

- 288 米内山庸夫 222-Y
 第三次革命資料 第3集
 甲南山房
 1冊 30cm
 注. 中国発行日刊新聞の切抜集(民国7.1.21
 ~8.9.12)。
- 289 吉野作造 222-Y
 支那革命小史 加藤 繁共著
 内外出版 大正11
 457P 22cm
- 290 矢萩富橋 222-Y
 支那馬賊裏面史
 日本書院 大正13
 445P 19cm
- 291 楊 玉如 222-Y
 辛亥革命先著記
 科学出版社 1957
 285P 22cm
 注. 1911~12年に起きた中国第一次革命の始
 末記。著者は武昌戦に参加した革命党人。
- 292 米内山庸夫 222-Y
 第四次革命資料 第1, 2集
 甲南山房
 2冊 30cm
 注. 中国発行日刊新聞の切抜集(民国7年~
 同8.)。
- 293 游 悔原 222-Y
 中華民国再造史
 民権出版部 民国6(1917)
 170P 23cm
- 294 有虞氏之遺民 222-Y
 鴉片流毒中国史
 匡時編訳社
 43P 21cm
- 295 吉田良太郎 222-Y
 西巡廻變始末記 吉田良太郎口訳 八詠楼主人
 筆述
 光緒28(1902)
 6冊 15cm 和書
 注. 義和団事件の始末記。
- 296 華 崗 222.2-K
 五・四運動史 一植民地化とのたたかい—
 天野元之助他訳
 創元社 昭和27
 264P 19cm
 注. 1919年5月4日, 中国に起った救国運
 動。

ヨ - ロ ッ パ

- 297 秦 彦三郎 238-H
 隣邦ロシア
 斗南書院 昭和12
 365P 20cm
- 298 酒井才二郎 238-S
 露国領土侵略図
 弘文館 明治37
 1枚 19cm
 付. 露国侵略小史

伝 記

- 299 田中正明 281.08-T
 大亜細亜先覚伝
 象山閣 昭和17
 332P 19cm
 注. 明治20~37.8年頃まで中国大陆で活躍し
 た荒尾精, 根津一, 浦敬一, 横川省三, 沖
 祺介の事蹟集。
- 300 中華国大漢偉人表 282-C
 悲喜生編
 三余書社 民国1(1926)
 注. 孫中山, 黄興, 胡漢民, 黎元洪, 汪精衛
 (72名)等, 中国々民党首脳の小伝集。
- 301 田 叔禾 282-D
 錢塘逸聞軼事
 六芸書局 民国17(1928)
 108P 19cm
 注. 錢塘(浙江省)地方の歴史, 民間伝承,
 風俗, 遺跡など集録。
- 302 大胆書生 282-D
 大湖大盜
 上海文華書局
 168P 19cm
 注. 中国内乱(民国20年)当時の人物・太保
 阿書とその一党の凶状を描く。
- 303 敷 文 社 282-F
 官紳履歴彙録 第1集
 民国9(1920)
 258P 23cm

伝

- 304 外務省情報部 282-G
現代中華民国・満洲帝国人名鑑 昭和12年版
昭和12
699P 19cm
- 305 馮 為岳 282-H
大漢偉人歴史
60P 20cm
注. 温生財, 陳敬岳, 胡漢民, 黎元洪等, 中
華民国建国当時(1912)の中国の指導者の
小伝。
- 306 広東全省同官録 乙卯春季1~4 282-K
又 新堂
4冊 26cm
- 307 増本義敏 282-M
現代支那 四百余州風雲児
成功雜誌社 明治44
194P 22cm
- 308 蒙古世系譜 5巻 282-M
27丁 20cm
- 309 難波常雄 282-N
支那人名辞書 早川純三郎, 鈴木行三共編
明治43
1838P 21cm
- 310 蔣 叔良 282-S
党国偉人軼事
上海 玫瑰書店 民国17(1927)
114P 21cm
- 311 職員録 中華民国9年第1期 282-S
印鑄局 民国9(1920)
1冊 19cm
- 312 西湖三女史伝記 282-S
六芸書局 昭和8
64P 19cm
注. 西湖にある三女史(憑小生, 菜香明, 雲
友立)の墓碑に因んだ, その伝記。諸女史
の詩を付す。
- 313 周 毓仁 282-S
中華南北名人新歴史 上巻
民国1(1912)
20丁 20cm
- 314 米内山庸夫 282-Y
支那人物誌 第1, 2集
甲南山房
2冊 30cm
注. 中国発行日刊新聞の切抜。袁世凱, 徐世
昌, 孫中山, 段 瑞, 吳佩孚等中国要人の
関係記事を収める。

記

- 315 明治天皇行幸年表 矢吹活禪編 288.4-M
聖文閣出版部 昭和13
335P 19cm
- 316 明治聖徳記念学会 288.4-M
明治天皇聖徳余光
明治聖徳記念学会 昭和12
204P 19cm
- 317 明治天皇・昭憲皇太后御逸事集 288.4-M
明治神宮社務所 昭和2
263P 17cm
- 318 日本精神宣昭会 288.4-N
皇道軌範
日本精神宣昭会 昭和9
240P 23cm
- 319 辻 善之助 288.4-T
聖徳余光
内閣印刷局 昭和15
222P 23cm

個人の伝記

- 320 白浪庵滔天(宮崎滔天) 289.1-H
三十三年之夢
福永書店 大正15
275, 28P 20cm
- 321 祝部希声 289.1-H
豊公遺宝図略
日吉社司 天保3
2冊 26cm
注. 日吉神社の宝物(太閤秀吉旧蔵)の目録
およびその略図。
- 322 広田不孤斎 289.1-H
歩いた道
求竜堂 昭和27
472P 21cm
- 323 福島貞子 289.1-K
日露戦争秘史中の河原操子
婦女新社 昭和10
216P 19cm
注. 河原操子(日露戦争当時, 蒙古王府教育
顧問)の伝記。
- 324 立野信之 289.1-K
公爵近衛文麿
大日本雄弁会講談社 昭和25
368P 19cm

伝

- 325 山州根津先生並夫人 289.1-N
昭和18
364P 22cm
注. 根津一(1860~1927・東亜同文書院長)
とその夫人の追憶談。
- 326 猪谷不美男 289.1-N
大遺訓
明治出版社 大正2
402P 22cm
注. 乃木希典(1849~1912・旧陸軍大将, 学
習院長)の追憶談。著者は当時, 学習院教
授。
- 327 山州根津先生伝 東亜同文書院滬友同窓会(編) 289.1-N
昭和5
490P 22cm
- 328 東亜同文書院滬友同窓会 289.1-N
山州根津先生伝
根津先生伝記編纂部 昭和5
490P 22cm
- 329 天野信太郎 289.1-N
乃木將軍日記
乃木將軍遺徳顕彰会 昭和11
226P 19cm
- 330 塚田清一 289.1-N
乃木大将事蹟
大正5
571P 22cm
- 331 桑田忠親 289.1-S
千 利久
青磁社 昭和17
360P 21cm
- 332 米内山庸夫自筆日記・書簡・雑文集 289.1-Y
合本 27cm
注. 福岡中学校(岩手県)時代の日記および
雑文, 書簡を含む。
- 333 米内山庸夫自筆日記・旅行記 289.1-Y
米内山庸夫
220P 21cm
注. 明治41年8月22日, 著者が生地・上北郡
七戸町を發足, 上海に到着するまで, およ
び中国内各地の旅行記。
- 334 芳沢謙吉 289.1-Y
外交六十年
自由アジア社 昭和33
311P 19cm

記

- 335 麦 若鵬 289.2-B
黄遵憲伝
上海 古典文学出版社 1957
112P 19cm
注. 広東の詩人・外交家黄遵憲(1848~1905)
の伝記。
- 336 戯劇月刊 1巻6期(梅蘭芳号) 289.2-B
大東青局印行 民国17(1928)
1冊 22cm
- 337 段 祺瑞 上・中・下編 289.2-D
20, 78, 28, 6P 20cm
- 338 袁 世凱資料 289.2-E
広智書局 民国2(1913)
70P 21cm
- 339 袁 世凱全伝 289.2-E
文芸編訳社
230P 図版 22cm
- 340 奈良一雄 289.2-E
中華民国大事件と袁世凱
中東石印局 大正4
560P 22cm
- 341 中保与作 289.2-F
満洲国皇帝(溥儀)
日本評論社 昭和10
452P 19cm
- 342 内山 舜 289.2-F
執政 溥儀
先進社 昭和7
291P 19cm
- 343 ジョンストン, レジナルド 289.2-F
禁城の熹光 溥儀皇帝自伝
関東玄洋社 昭和10
516P 22cm
- 344 碧 血 289.2-H
59P 18cm
注. 楊大洪, 魏廓園, 顧塵客, 繆西谿, 高景
逸, 李仲達等, 明・清代の中国偉人の年譜
小伝, 遺稿を収める。
- 345 人 尹郎 289.2-J
徐 錫麟
新小説社 光緒33(1907)
1冊 20cm
- 346 長与善郎 289.2-K
大帝康熙
岩波 昭和15
200P 18cm

伝

- 347 西本白川 289.2-K
康熙大帝
上海 春申社 大正14
370, 16P 22cm
注. 清朝第4代の皇帝(1654~1722)。
- 348 孔明 289.2-K
安東俊明著
博文館 明治33
192P 23cm (世界歴史譚 14)
- 349 後藤末雄 289.2-K
乾隆帝伝
生活社 昭和17
290P 20cm
注. 清朝6代の皇帝乾隆帝の伝記。おおむね乾隆1(1736)から同50(1785)年に至る。
- 350 孫毓修 289.2-K
関壯穆・岳武穆事略
北京 商務印書館 民国4(1915)
34P 19cm (模範軍人 第1冊)
- 351 黃帝子 289.2-O
黃帝魂
明治45
218P 22cm
- 352 公益書社 289.2-O
汪精衛小史
広州 全経閣書局 民国1(1912)
23P 21cm
注. 汪兆銘(1883~1944)。孫文死後の国民党指導者の一人。親日政府を樹立した。
- 353 紀佩六郎 289.2-R
李蓮英 宣統1(1909)
40P 20cm
注. 清の寵臣・李蓮英の事蹟を述べる。
- 354 羅爾綱 289.2-R
忠王李秀成自伝原稿箋証
中華書房 1957
354P 19cm
- 355 梁紀佩 289.2-R
四川鵑声記盛宣懷
嶺南小説社 光緒34(1908)
50P 20cm
注. 四川の盛宣懷(~1916)の活躍を描いたもの。
- 356 劉坤一 四十年來大事記 289.2-R
光緒29(1904)

記

- 蘇宝宝357 289.2-S
蘇宝宝
醒社 1911
19P 18cm
注. 情天樓の妓女 蘇宝宝(su pao pao)の伝記逸話など。
- 358 狩野直禎 289.2-S
諸葛孔明
人物往来社 昭和41
286P 19cm (中国人物双書2)
- 359 白河次郎 289.2-S
諸葛孔明
敬文館 明治44
295P 22cm
- 360 呂思勉 289.2-S
蘇秦張儀
中華書局 民国4(1915)
106P 19cm
- 361 諸葛孔明伝 289.2-S
308P 19cm
- 362 孫毓修 289.2-S
諸葛亮
商務印書館 民国2(1913)
54P 19cm
- 363 世次郎 289.2-S
岑春萱
世界公益報
70P 20cm
- 364 石達開日記 289.2-S
上海世界書局 民国20(1931)
130P 22cm
注. 太平天国の指導者・洪秀全の同志石達開の日記。
- 365 宮崎市定 289.2-Y
隋の煬帝
人物往来社 昭和40
249P 19cm (中国人物双書4)
- 366 衛藤利夫 289.3-K
満洲生活三十年—奉天の聖者クリスティアの思出—
大阪屋号書店 昭和10
392P 19cm

伝記・地理

- 367 マルコポーロ 289.3-M
馬哥孛羅遊記導言 (マルコポーロユーキドローグ
ン)
マルコポーロ著 張星煥訳
中国地学会 民国12 (1924)
338 P 22cm
- 368 五来素川 289.3-N
大帝那翁 (ナポレオン)
養賢堂 大正3
300 P 22cm
- 地 理
- 369 渡辺良助 290-W
周遊六万軒
東京開成館 昭和12
138 P 19cm
- 日 本 地 理
- 370 鳥谷幡山 291.2-T
十和田勝景画譜
東京堂 大正11
50 P 図版 27cm
- 371 秋吉 茂 291.9-A
美女とネズミと神々の島
河出書房 昭和13
252 P 19cm
- ア ジ ア 地 理
- 372 朝倉明宣 292-A
清国巡遊誌
仏教図書KK 明治33
247 P 22cm
- 373 中国古今地名大辞典 292-C
1512 P 22cm
- 374 衛藤利夫 292-E
韃靼 (ダッタン)
朝日新聞社 昭和13
283 P 20cm
- 375 フーシーシン, ラージャ 292-F
毛沢東の国 朝川清訳
共同出版社 昭和29
254 P 19cm
- 376 福田新生 292-F
北満のロシア人部落
多摩書房 昭和17
221 P 22cm
- 377 五柳散士 292-G
福島少佐騎馬旅行
東雲堂 明治25
58 P 22cm
- 378 久米邦武 292-K
支那大観と細観 永井柳太郎共著
新日本社 大正6
280 P 20cm
- 379 クリスト, グスタフ 292-K
西部中央亜細亜旅行記
外務省文化事業部 昭和14
248 P 22cm
- 380 金子健二 292-K
マンダヴィル東洋旅行記
大鏡閣 大正8
409 P 20cm
- 381 木村荘五 292-K
南国記
日本評論社 昭和17
371 P 20cm
- 382 松原岩五郎 292-M
征塵餘録
民友社 明治29
186 P 15cm
- 383 マルコポーロ 292-M
まるこぼろ紀行 マルコポーロ著 瓜生寅訳
博文館 明治45
514 P 22cm
- 384 Marco Polo 292-M
The travels of Marco Polo Rev. from
Marsden's translation
New York Liveright Pub. Corp. 1930
370 P 22cm
注. 英訳・マルコポーロ旅行記
- 385 乗杉義尚 292-N
中華民国に遊ぶ
乗杉事務所 大正12
466 P 20cm
- 386 王 蘭仲 292-O
小説的杭州西湖指南
古今図書店 民国18 (1929)
244 P 19cm

- | | 地 | 理 | | |
|-----|---|---------|--|---------|
| 387 | パッサルゲ, ジークフリード
大東亜地理民俗学
地平社 昭和17
302P 21cm | 292-P | 396 Arnold, J
In and around Canton 2d ed, rev.
London, Tillotsons Son, Limited 1910
131P illus. 19cm
注. 図入広東旅行案内 | 292.2-A |
| 388 | 参謀本部編纂課
支那地誌(蒙古部)
参謀本部 明治26
357P 20cm | 292-S | 397 バクストン
支那 岡崎三郎訳
中央公論社 昭和18
404P 22cm | 292.2-B |
| 389 | スミス, ニコル
滇緬公路 ニコル, スミス著
救仁郷繁訳
万里閣 昭和15
293P 20cm | 292-S | 398 馬 芷庠
北平旅行指南
経済新聞社 民国24(1935)
428P 19cm | 292.2-B |
| 390 | 園田一亀
吉林・滨江両省に於ける金代の史蹟
民生部 康德8(1933)
73P 26cm | 292-S | 399 墨 浪子
西湖佳話十八景図説
1冊 17cm | 292.2-B |
| 391 | 曹 学佺
蜀中名勝記 上・下巻
商務印書館 民国26(1937)
2冊 19cm | 292-S | 400 陳 万里
西行日記
樸社 民国15(1926)
224P 22cm | 292.2-C |
| 392 | 米内山庸夫
蒙古草原
改造社 昭和17
233P 図版198 地図1 22cm
注. 「蒙古風土記」(昭和13年刊)の続篇。
ホロンバイル, 大興安嶺の2篇に大別し,
湖と河, 生物, 気象, 遺蹟など, 風俗地誌
的に叙述す。また豊富な図版は楽しめる。 | 292-Y | 401 張 英
本国新遊記 1
商務印書館 民国9(1920)
149P 19cm | 292.2-C |
| 393 | 米内山庸夫
支那旅行記 1.2
2冊 21cm (米内山庸夫稿本)
注. 明治43年から大正2年頃までの旅行記。
越南滇蜀行, 上海日記, 北京行, 長城行,
塞外行, 九江行, 南昌行, ドロンノールよ
り, 山西旅行, 北京日記, 香港より日本,
東京日記, 広東日記, 其他雑文を含む。 | 292-Y | 402 遅塚金太郎
山東廻路
春陽堂 大正4
294P 15cm | 292.2-C |
| 394 | 厦門日本居留民会
厦門事情
大正6
214P 18cm | 292.2-A | 403 陳 重生
西行艶異記
1929
240P 20cm
注. 著者の旅行記。第1部は四川省西部, 第
2部は西康, 雲南東部の風土, 人情, 山川
物産等。奇談珍談が多い。 | 292.2-C |
| 395 | 会沢怡園
雲南地志
愛国小学堂 光緒34(1908)
3冊 27cm | 292.2-A | 404 張 其昀
浙江省史地記要
商務印書館 民国17(1928)
156P 20cm | 292.2-C |
| | | | 406 長 江
蘭州・西安・寧夏
朝日新聞社 昭和13
274P 19cm | 292.2-C |
| | | | 407 大日本東洋婦人会
清国雜観
明治41
1冊 23×30cm | 292.2-D |

- | | 地 | 理 | | |
|-----|---|---------|--|---------|
| 408 | 藤田元春
北支中支の風物
成象堂 昭和13
475P 19cm | 292.2-F | 417 家永豊吉
西亜細亜旅行
民友社 明治33
191P 19cm | 292.2-I |
| 409 | 藤谷重雄
青年大陸読本
上田屋書店 昭和15
334P 21cm | 292.2-F | 418 舒 新城
蜀遊心影
開明書店 1929
290P 20cm | 292.2-J |
| 410 | フレミング, ジョージ
南滿騎行 ジョージ・フレミング 指田文三
郎・大江專一訳
朝日新聞社 昭和16
286P 19cm (大陸双書8) | 292.2-F | 419 徐 旭生
徐旭生西遊記
大書莊 民国19 (1930)
1冊 25cm | 292.2-J |
| 411 | Fitch, Robert F.
Hangchow itineraries—describing the chief
places of interest with a note on the
famous bore, 3d ed., rev. and enl.
Shanghai Kelly & Walsh, Ltd. 1929
94P illus, 6maps, 16cm
注. 漢口案内一名勝旧蹟を特に詳記。 | 292.2-F | 420 チェームズ, ヘンリー
滿洲踏査行 ヘンリー・チェームズ
朝日新聞社 昭和16 満鉄弘報課訳
237P 19cm (大陸双書第6巻) | 292.2-J |
| 412 | 後藤末雄
芸術の支那・科学の支那
第一書房 昭和17
318P 19cm | 292.2-G | 421 邢 契莘
中国人の見たる松黒両江岸地方事情 浜岡福松
訳
南滿洲鉄道株式会社 大正12
77P 22cm | 292.2-K |
| 413 | Hurley, R.C.
The tourist's guide to Canton, The
west River and Macao
Hongkong, R. C. Hurley 1903
96P, illus., map, 20cm
注. 広東, 西河, マカオ, 香港旅行案内。 | 292.2-H | 422 胡 君復
泰山指南
商務印書館 民国12 (1923)
77, 34P 20cm | 292.2-K |
| 414 | 花岡伊之作
北京概観
明治44
252P 16cm | 292.2-H | 423 研究資料 支那
1冊 (合冊) 22cm
注. 雑誌中央公論, 早稲田講演等の支那特集
号の合冊。 | 292.2-K |
| 415 | 范 成大
呉船録 全
26丁 19cm (知不足齋叢書) | 292.2-H | 424 滬寧滬杭甬鐵路旅行指南
鐵路管理局 民国8 (1919)
166, 98P 20cm
注. 滬寧 (上海—南京) 線, 滬杭甬 (上海—
杭州—開口) 線鉄道, 旅行案内。 | 292.2-K |
| 416 | 池田桃川
江南の名勝史蹟
上海 日本堂 昭和3
234P 19cm | 292.2-I | 425 近藤達児
孫文移靈祭の記 附, 新支那旅行記
昭和4
191P 20cm | 292.2-K |
| | | | 426 湖山便覧 1~12
槐蔭堂 明治8
6冊 18cm | 292.2-K |
| | | | 427 河合絹吉
昆明 (雲南)
育英書院 昭和13
146P 19cm | 292.2-K |

- | | 地 | 理 |
|--|---------|---|
| 428 久保健二 | 292.2-K | 439 Kerr 292.2-K
A guide to the city and suburbs of Canton, rewritten and brought up-to-date Hongkong, Kelly & Walsh 1918
103P illus., maps 22cm
注. 広東市街とその近郊旅行案内, |
| 広東珠江
東亜書林 昭和17
82P 19cm | | |
| 429 来馬琢道 | 292.2-K | 440 Lloyd, C.V. 292.2-L
A book for the globetrotter; from Hongkong to Canton by the Pearl River
Hongkong Daily Press 1913
80P. illus., maps, 20 cm
注. 旅行案内—(珠江經由・香港—広東) |
| 蘇浙見学録
鴻盟社 大正2
218P 22cm | | |
| 430 クレッシイ, J. B | 292.2-K | 441 満洲国通信社 292.2-M
満洲国現勢 康德5年版
康德5 (1938)
534P 26cm |
| 支那満洲風土記 高垣勤次郎訳
426P 19cm | | |
| 431 金 文華 | 292.2-K | 442 蒙古踏査報告集 292.2-M
吟爾賓学院 昭和13
215P 22cm |
| 北京遊覧指南
中華印書局 民国24 (1935)
80P 19cm | | |
| 432 小西織之助 | 292.2-K | 443 満洲事情案内所 292.2-M
北支那事情
昭和10
104, 36P 22cm |
| 蜀山江水
明治44
103P 22cm | | |
| 433 近藤圭造 | 292.2-K | 444 森 清太郎 292.2-M
嶺南紀勝
丸善 昭和3
342P 20cm |
| 輿地誌略 (亜細亞及び支那) 1~3
汎愛堂 明治10
3冊 26cm | | |
| 434 広東名勝史蹟 | 292.2-K | 445 諸橋轍次 292.2-M
遊支雑筆
目黒書店 昭和13
309P 19cm |
| 岳陽堂 大正11
200P 22cm | | |
| 435 桑原隲蔵 | 292.2-K | 446 マルコポーロ 292.2-M
馬哥孛羅遊記 張 星煥訳
燕京大学図書館
414P 23cm |
| 考史遊記
弘文堂 昭和17
311P 函版 27cm | | |
| 436 京漢鐵路事務処 | 292.2-K | 447 松村雄蔵 292.2-M
吳越彩管遊記
毎日新聞社 昭和16
211P 20cm |
| 京漢旅行指南
京漢鐵路局 民国2 (1913)
180P 19cm | | |
| 437 華北事情案内所 | 292.2-K | 448 松浦鎮次郎 292.2-M
支那全土
昭和13
412P 19cm |
| 北支那の名勝・旧蹟
北京 華北事情案内所 昭和13
106P 19cm | | |
| 438 広 韻笙 | 229.2-K | 449 ミューラー, J. 292.2-M
東蒙古遼代旧城探考記 馮承鈞訳
商務印書館 民国19 (1930)
118P 19cm |
| 広東攷古集要 (欠本)
還読書屋 光緒19 (1893)
2冊 18cm | | |

	地	理		
450	村上知行 北京 名勝と風俗 東亜公司 昭和13 357P 19cm	292.2-M	461 王 度鉢 最新西湖遊記 開明印刷局 民国19 (1930) 124P 19cm	292.2-O
451	宮内猪三郎 清国事情探検録 東陽堂 明治27 30P 22cm	292.2-M	462 王 泰来 天下名山勝景記目録 会文堂書局 民国14 (1925) 178P 21cm	292.2-O
452	中村孝也 支那を行く 大日本雄弁会講談社 昭和17 467P 19cm	292.2-N	463 小川琢治 支那歴史地理研究 弘文堂 昭和3 404P 22cm	292.2-O
453	中野孤山 支那大陸横断 遊蜀雜俎 六盟館 大正2 302P 19cm	292.2-N	464 岡野少佐 支那一夕話 昭和3 193P 23cm	292.2-O
454	中野江漢 北京繁昌記 3 支那風俗研究会 大正14 158P 19cm	292.2-N	465 岡 千仞 觀光紀游 上・中・下 明治25 3冊 19cm	292.2-O
455	中山正善 上海から北平へ 天理教道友会 昭和9 427P 24cm	292.2-N	466 岡田尚友 唐土名勝図会 6卷 大阪 柳原喜兵衛 文化2 (1805) 6冊 24cm 和 3巻欠	292.2-O
456	南支調査会 海南島読本 昭和14 203P 22cm	292.2-N	467 ラティモア, オウエン 農業支那と遊牧民族 後藤富男訳 生活社 昭和15 208P 22cm	292.2-R
457	南京特別市教育局 首都名勝古蹟 民国18 (1929) 1冊 図版 13×22cm	292.2-N	468 羅 兩綱 太平天国史蹟調査集 三連書店 1958 393P 22cm	292.2-R
458	西 晴雲 江南百題 富山房 昭和13 212P 19cm	292.2-N	469 羅 文漢 旅蜀日記 開明書店 1927 166P 19cm	292.2-R
459	王 桐令 江浙旅行記 文化学社 民国17 (1928) 136P 22cm	292.2-O	470 陸 游 入蜀記, 呉船録, 棧雲峽雨日記 陸 游等著 米内山庸夫訳注 大阪屋号書店 昭和19 387P 22cm 注. 陸游の入蜀記, 苑成大の呉船録, 竹添井 々の棧雲峽雨日記の3篇を収める。	292.2-R
460	王 桐令 陝西旅行記 文化学社 民国17 (1928) 42P 22cm	292.2-O	471 陸 游 入蜀記注釈 上・下巻 陸游著 大槻東陽註釈 松山堂 明治26 2冊 19cm	292.2-R

	地	理
472	陸 游 入蜀記 知不足齋叢書本 1冊 20cm	292.2-R
473	六芸書局 西湖名勝快覽 游杭指南 民国17 (1928) 24P 19cm	292.2-R
474	李 調元 粵東筆記 上海会 昭和4 153P 19cm 注. 広東地方の歴史, 地誌, 風俗から取材した奇聞誌。	292.2-R
475	リヒトホーフェン 支那 1, 5 望月勝海, 佐藤晴生訳 岩波 2冊 昭和16.18 内容 1 支那と中央アジア 5 西南支那	292.2-R
476	沢村幸夫 上海風土記 上海日報社 昭和6 145P 19cm	292.2-S
477	支那省別全誌刊行会 新修支那省別全誌 第1~9巻 東亜同文書院 昭和16-21 11冊 23cm 内容 第1巻 四川省 上 第2巻 四川省 下 第2巻 広西省 (大正6年刊初版) 第3巻 雲南省 第4巻 山東省 第5巻 四川省 (大正6年刊初版) 第6巻 陝西省 第7巻 甘肅省, 寧夏省 第8巻 新疆省 第9巻 青海省, 西康省	292.2-S
478	上海指南 商務印書館 宣統2 (1910) 1冊 20cm	292.2-S
479	蕭 雄 西域雜記 外務省調査局 昭和19 207P 22cm	292.2-S
480	山東鉄道旅行指南 民国11 (1922) 157P 18cm	292.2-S
481	西湖遊覧指南 商務印書館 民国3 (1914) 131P 20cm	292.2-S
482	信 天叟 西湖韻事 六芸書局 民国18 (1929) 94P 19cm	292.2-S
483	商務印書館 新体中国地理 民国1 (1912) 98, 46P 22cm	292.2-S
484	商務印書館 中国旅行指南 民国9 (1920) 350P 20cm	292.2-S
485	周 去非 嶺外代答 文殿閣書莊 民国16 (1927) 159P 19cm 注. 南宋の進士, 周去非 (隆興年間在世) の編述, 中国の地理, 辺師, 風土, 法制, 財計, 器用, 服用, 食用等を全10巻にまとめる, 但し, 原著は全20篇という。	292.2-S
486	曾我部静雄 開封と杭州 富山房 昭和15 156P 20cm	292.2-S
487	須佐嘉橘 満蒙に於ける元の二大史蹟 栗田書店 昭和11 65P 22cm	292.2-S
488	済南日本総領事館 山東概観 大正15 108P 22cm	292.2-S
489	錢 秣陵 中国人文地理 上巻 43丁 24cm	292.2-S
490	宗 源瀚 浙江水陸道里記 6, 7, 8 輿図総局 光緒20 (1894) 3冊 30cm	292.2-S

- | | 地 | 理 | |
|----------------------------|---------|------------------------|---------|
| 491 曹 秉仁 | 292.2-S | 501 東亜研究講座 其1 | 292.2-T |
| 寧波府志 7,35卷 | | 東亜研究会 昭和6 | |
| 雍正7 (1729) | | 6冊合本 19cm | |
| 2冊 25cm | | 502 東亜同文書院第七期生 | 292.2-T |
| 内容 | | 一日一信 | |
| 7卷 山川 | | 明治43 | |
| 35卷 古蹟, 芸文 | | 446P 23cm | |
| 492 周 密 | 292.2-S | 503 東亜同文書院第12期生 | 292.2-T |
| 武林旧事 上, 下卷 | | 同舟渡江 | |
| 進歩書局 | | 大正4 | |
| 2冊 16cm | | 424P 22cm | |
| 注. 南宋の首都臨安の雑事を記録したもの。 | | 504 東亜同文書院 | 292.2-T |
| 武林は近傍の山名。 | | 旅行記念志 | |
| 493 適園主人 | 292.2-T | 明治44 | |
| 三海見聞志 | | 462P 22cm | |
| 京城印書局 民国19 (1930) | | 505 東京地学協会 | 292.2-T |
| 46P 27cm | | 揚子江流域 | |
| 494 タイクマン, S・E | 292.2-T | 大正2 | |
| 新疆旅行記 内藤岩雄訳 | | 345.62P 22cm | |
| 外務省文化事業部 昭和10 | | 506 遠山景直 | 292.2-T |
| 178P 22cm | | 蘇浙小観 | |
| 495 高橋定坦 | 292.2-T | 江漢書屋 明治36 | |
| 支那祖蹟参拝紀行 | | 355P 22cm | |
| 中央仏教社 大正15 | | 507 上塚 司 | 292.2-U |
| 225P 19cm | | 揚子江を中心として | |
| 496 東亜同文書院 | 292.2-T | 織田書店 大正14 | |
| 粵射隴游 | | 830P 19cm | |
| 大正10 | | 508 宇野哲人 | 292.2-U |
| 791P 19cm | | 支那文明記 | |
| 注, 大正9 (1920) 年6月, 上海東亜同文書 | | 大同館 明治45 | |
| 院第18期生が行った中国旅行記。 | | 394P 22cm | |
| 497 高瀬敏徳 | 292.2-T | 509 山田邦彦 | 292.2-Y |
| 北清見聞録 | | 揚子江上流地方調査日誌 | |
| 金港堂 明治37 | | 東京地学協会 昭和11 | |
| 146P 22cm | | 160P 図版 22cm | |
| 498 竹中清 | 292.2-T | 510 米内山庸夫 | 292.2-Y |
| 蒙古横断録 | | 新疆資料稿本1~4 | |
| 嵩山堂 明治42 | | 4冊 27cm | |
| 305P 20cm | | 内容 | |
| 499 丁 文江 | 292.2-T | 1 新疆大観 | |
| 徐霞客遊記 上, 下 | | 2 新疆情况 | |
| 商務印書館 民国17 (1928) | | 3 回教叛乱—蘇聯と共産主義 | |
| 2冊 26cm | | 4 交通 | |
| 500 東京地学協会 | 292.2-T | 注. 中国経済年鑑, 露人スミグノフの手記, | |
| 中支那及南支那 | | 中央アジア横断鉄路調査資料等をまとめた | |
| 大正6 | | もの。 | |
| 444P 22cm | | | |

- | | 地 | 理 |
|-----|--|---------|
| 511 | 楊 寶
柳辺紀略
文殿閣
146P 20cm
注. 中原(黄河の流域)地方の地誌とその変遷を述べる。全6巻, 巻末に雑詩を付載す。 | 292.2-Y |
| 512 | 米内山庸夫
雲南四川踏査記
改造社 昭和15
357P 20cm
注. 明治43年, 著者が遊んだ雲南, 四川地方のルポルタージュ。第1編紀行, 第2編調査に大別した。 | 292.2-Y |
| 513 | 安井正太郎
湖 南
博文館 明治38
718P 22cm | 292.2-Y |
| 514 | 米内山庸夫
蒙古及蒙古人
目黒書店 昭和18
365P 20cm
注. 著者の構想の中にある「大蒙古誌」編さんの第一段階として, 『蒙古三部作』(同人著)を改めて練りなおしたものである。 | 292.2-Y |
| 515 | 米内山庸夫
蒙古風土記
改造社 昭和13
447P 20cm
注. 著者が昭和8年から同11年まで当時の満洲国ハイラルに在勤した頃旅行した蒙古見聞記。 | 292.2-Y |
| 516 | 米内山庸夫
支那風土記
改造社 昭和14
561P 20cm
注. 著者が, 大正14年から昭和3年まで在勤した, 済南, 杭州地方の風物誌。西湖, 大陸の人々, 江南山水記, 銭塘江と普陀山, 江南風物志, 青磁窯を探る, 山東放浪記, 支那人の文化生活の8章, どれも著者の博識と詩情がうかがえる。 | 292.2-Y |
| 517 | 米内山庸夫
日本と大陸
北光書房 昭和20
327P 19cm | 292.2-Y |
| 518 | 米内山庸夫
日支の将来
中央公論社 昭和14
302P 20cm
注. 緒言, 支那民族論, 大陸政策論, 日支親善の4篇に分け, 日支の共存は日本人が, 何よりも支那の実態を理解する事が第一だと強調し, これを「知ろうと努力するところに, 自然に日支親善の道が発見せらるるであろう」(序文), と暗示している。 | 292.2-Y |
| 519 | 姚 明輝
蒙古志
中国図書公司 光緒33(1907)
88P 22cm | 292.2-Y |
| 520 | 葉 春犀
済南指南
大東日報社 民国3(1914)
200P 22cm | 292.2-Y |
| 521 | 楊 祚昌
遊杭紀略
文元堂 民国11(1922)
1冊 20cm | 292.2-Y |
| 522 | ユック, エル, エ
韃靼・西藏・支那旅行記 川上芳信訳
生活社 昭和14
472P 22cm | 292.2-Y |
| 523 | 周 達観
真蠟風土記 外務省調査部訳
外務省調査部 昭和15
1冊 22cm
注. 元の成宗の時, 使を遣して真蠟(かんぼじゃ)を招諭した時に, 達観が随行して見聞する所を記したもの(四庫提要, 史, 地理類) | 292.3-S |
| 524 | 笠間泉雄
沙漠の国
岩波 昭和10
369P 19cm | 292.6-K |

社 会 科 学

探検記・発見史

- 525 本山桂川 298-M
 間宮林蔵大陸紀行
 八弘書店 昭和17
 212P 19cm

300 社会科学

総 記

- 526 雨宮 巽 302-A
 私の見た支那
 陸軍画報社 昭和12
 166P 19cm
- 527 外務省情報部 302-G
 最近ニ於ケル欧米人ノ支那観 1~5
 外務省 大正12
 合冊 21cm
- 528 外務省通商局 302-G
 雲南事情
 外務省 明治44
 182P 22cm
- 529 外務省文化事業部 302-G
 黒竜江省ニ於ケル風土及土着族ニ関スル調査
 昭和7
 132P 22cm
- 530 [外務省情報部第一課編] 302-G
 A trip to North Manchuria-repd. from
 the P.&T. Times (Jan. 19—Feb. 9)
 164枚 27cm
 注. 北満旅行記—P.Tタイムスから転載。
- 531 外務省情報部 302-G
 支那情報 1~12集
 外務省 大正12
 1冊 22cm

- 532 林出賢次郎 302-H
 清国新疆省伊犁地方觀察復命書
 外務省 1907
 125P 27cm
- 533 服部宇之吉 302-H
 支那研究
 明治出版社 大正5
 651P 22cm
- 534 市村瓚次郎 302-I
 支那論集
 富山房 大正5
 317P 22cm
- 535 神田正雄 302-K
 中国社会と民族性
 朴烈文化研究所 1949
 136P 19cm
- 536 水野梅暁 302-M
 支那の變局
 東方通信社 大正10
 277P 20cm
- 537 望月百合子 302-M
 新しい神様の国
 富士書苑 昭和129
 326P 19cm
- 538 中西牛郎 302-N
 支那文明史論
 博文館 明治29
 2冊 22cm
- 539 支那情報 302-S
 外務省政務局 昭和10
 26cm
- 540 支那政況概観 1~4 302-S
 外務省 大正15
 4冊 26cm
- 541 謝 彬 302-S
 新疆事情
 外務省文化事業部 昭和9
 890P 22cm
- 542 支那情報第1号~第13号 302-S
 外務省情報部 大正10
 73冊 25cm
- 543 重光駐支公使報告書昭和6年 302-S
 外務省 昭和6
 112P 26cm

社 会 科 学

- 544 佐々木到一 302-S
私は支那を斯く見る
満洲雜誌社 康德9 (1942)
328 P 19cm
- 545 関 和知 302-S
西隣游記
日清印刷 大正7
179 P 22cm
- 546 支那研究彙録 302-S
亜細亜通信社 大正10
1冊 22cm
- 547 支那研究資料第1.2集 302-S
29cm
(新聞切抜合本)
注. 第1集 大正2年6月~同5年3月
第2集 大正5年3月~同8年2月
- 548 支那満洲事情 302~S
外務省情報部 大正14
761 P 26cm
- 549 支那時報 大正5.6年 302-S
1384 P 21cm
- 550 米内山庸夫 302-Y
支那の現実と理想
今日の問題社 昭和17
407 P 20cm
注. 緒説, 支那と支那人, 支那と中華民国,
支那事變の現実, 支那政局の将来, 対支文
化政策, 支那人の性格, 大陸の理想の8章
に分ける。「日支の将来」(昭和14刊)の
続編ともいうべきもので, 日本がいわゆる
「大東亞戦争」に突入していたにもかかわらず,
日支親善主義は, いぜんと変えてい
ない。
- 551 米内山庸夫 302-Y
支那と蒙古
北光書房 昭和18
453 P 20cm
注. 地形, 民俗等見聞をもとにした随想記。
支那, 蒙古を日本の善隣と考え, 共存を説
いている。
- 552 米内山庸夫 302-Y
支那報告書1~4
4冊 26cm
注. 明治41年, 著者が渡支, 上海東亞同文書
院入学以来, 外交官として駐在中の体験を
もとにした私的報告書。全巻原稿用紙
1,000枚を超える大陸随想録である。
- 553 チッキングスン, ジイ, ロウス 304-J
欧米人に与ふる書 奈良次郎訳
北星堂 昭和4
101 P 19cm
- 554 塩鳥少佐 304-S
第三革命後に於ける広東時局の概要
26cm (複写本)
- 555 矢野仁一 304-Y
近代支那論
弘文堂 昭和15
373 P 22cm
- 556 燕 塵 26~48号 305-E
合本 26cm
燕塵会(北京) 明治43~45
注. 北京燕塵会発行の中国研究雑誌。26号
(43.2月), 27号(43.3月), 28号(43.4月), 30
号(43.6月), 31号(43.7月), 32号(43.8月)
37号(44.1月), 38号(44.2月) 39号(44.3
月), 41号(44.5月), 42号(44.6月), 43号
(44.7月), 44号(44.8月), 46号(44.12月),
48号(45.2月), 49号(45.3月)
- 557 孫 文 308-S
總理全集 1.2.3
民智音局 昭和5
3冊 22cm
注. 孫中山(1866~1925・中国, 辛亥革命の
指導者)の全著作集。
第1集 主義, 方略, 雜著
第2集 宣言, 演説, 談話
第3集 文電, 函札
第4集 遺墨
- 558 今里勝雄 309-I
三代思想録
新紀元社 昭和20
400 P 20cm
注. 著者が国家主義的立場から眺めた明治・
大正・昭和三代思想變遷史。

政 治

- 559 白 鵬飛 311.2-H
近百年政治思想變遷史略
上海華通書局 民国18 (1929)
92 P 19cm

社 会 科 学

- 560 朱 天慧 312-S
中共の内幕
世界社 昭和27
253P 20cm
- 561 梁 鼎芬 312-R
康有為之事實
80P 26cm
注. 「康有為之事實」と我国外務省の「戊戌政変資料(三)」を合綴したもので便宜上前者をもって書目とした。前者の内容は解題にゆずる。後者は明治31年9月から同37年6月に至るまでの資料で「康有為梁, 啓超等本邦亡名関係」などサブタイトルがついている。
- 562 ヘルデン, ジャック 312.2-B
中国は世界をゆるがす 安藤次郎訳
青木書店 1965
270P 15cm
- 563 張 一麿 312.2-C
直皖秘史
世界書局 民国9 (1920)
37P 19cm
注. 吳佩孚, 王克敏等の直隸派と閻錫山, 王揖唐等皖派の内紛, 確執を描く。
- 564 国民革命軍総司令部政治訓練部 312.2-K
赤禍録
75P 20cm
- 565 内藤虎次郎 312.2-N
支那論
文会堂 大正3
397P 22cm
- 566 大村欣一 312.2-O
支那政治地理誌
丸善 大正2
968P 22cm
- 567 李 劍農 312.2-R
最近三十年中国政治史
上海 太平洋書店 昭和5
652P 22cm
- 568 周 仏海 312.2-S
三民主義解説
岩波 昭和15
234P 18cm
- 569 酒巻貞一郎 312.2-S
支那分割論
啓成社 大正2
204P 22cm
- 570 竹内克己 312.2-T
支那政党結社史 柏田忠一共著
崇文閣 大正7
342P 19cm
- 571 姜 泣群 312.2-Y
熊秉三先生政書
掃葉山房 民国2 (1913)
35丁 19cm
注. 熊秉三の書状, 建議案等。
- 572 孫 文 314-S
民権初歩
民国6 (1917)
1冊 27cm
- 573 波多野乾一 315-H
中国国民党通史
大東出版社 昭和18
629P 22cm
- 574 松本鎗吉 315-M
支那政党史稿
大正7
219P 27cm
- 575 中保与作 315-N
支那共産党の現状
善隣協会 昭和18
48P 21cm
- 576 王 季文 315-O
中国国民党革命理論之研究
大東書局 民国17 (1928)
22P 26cm
- 577 鄒 魯 315-S
中国国民党史稿 上、下巻
上海民智書局 民国13 (1924)
2冊 22cm
- 578 スターリン 316.5-S
支那革命の諸問題 高山洋吉訳
叢文閣 昭和2
119P 21cm
- 579 清野謙次 316.8-K
日本人種論変遷史
小山書店 昭和19
617P 21cm
- 580 梁 啓超 316.8-R
中国魂
広智書院 宣統2 (1910)
74P 22cm

社 会 科 学

- 581 吉野作造 316.8-Y
 極東の民族
 民友社 大正5
 352P 19cm
- 582 王道 318.9-O
 中国地方制度之沿革
 内務部編訳処 民国7 (1918)
 126P 25cm
- 583 朝日新聞調査研究室 319-A
 中ソ論争
 朝日新聞社 昭和38
 263P 20cm
- 584 フランク 319-F
 三国干渉還遼秘聞 王 光祈訳
 中華書局 民国18 (1929)
 65P 22cm
- 585 博文館 319.1-H
 外交史
 博文館 明治38
 261P 26cm (太陽臨時増刊)
- 586 小川運平 319.1-O
 日本と大陸
 北畧学会 大正12
 614P 23cm
- 587 大熊 真 319.1-O
 幕末期東亜外交史
 乾元社 昭和19
 285P 22cm
- 588 支那派遣軍總司令部報道部 319.1-S
 同生共死「日華新関係の根本理論」
 昭和18
 579P 22cm
- 589 渡辺幾治郎 319.1-W
 明治外交史話
 日本放送出版協会 昭和15
 244P 18cm
- 590 中国国民党浙江省党部 319.2-C
 対日作戦必勝論
 民国20 (1931)
 74P 13×10cm
- 591 洪 鈞培 319.2-K
 国民政治外交史
 華通書局 民国17 (1928)
 389P 22cm
- 592 高 承元 319.2-K
 広洲武漢革命外交文献
 神州国光社 1930
 162,80P 22cm
- 593 華 企雲 319.2-K
 雲南問題
 上海 大東書局 1931
 124P 19cm
- 法 律
- 594 張 君約 322.2-C
 支那屯田兵制史 藤田 実訳
 人文閣 昭和17
 330P 19cm
- 595 大清会典 322.2-D
 国書集成印書局 光緒19 (1893)
 8冊 20cm
 注. 乾隆29 (1764) 年傅恒等が勅命によって編さんした清朝の政事, 官制, 組織の大綱。宗人府, 内閣, 吏部, 戸部, 礼部, 楽部, 兵部等百巻から成る。
- 596 黄 宗羲 322.2-K
 明夷待訪録
 51丁 21cm
 注. 中国, 文物制度の起源を説く。原君, 原臣, 原法, 学校, 田制, 兵制, 財計, 奄宦など。
- 597 宮崎市定 322.2-M
 科 挙
 中央公論社 昭和38
 219P 18cm (中公新書15)
- 598 清史稿刑法志註解 322.2-S
 法律出版社 1957
 122P 19cm
 注. 清代中国の刑法, 犯例の解説。担当は中国人民政府国務院法制局法制史研究室。
- 599 李 慶芳 329-R
 中俄立約始末記
 憲法新聞社 民国2 (1913)
 198P 22cm
 注. 中国と俄国(ロシア)との間に締結した諸条約——尼布楚条約(1689), 恰克図条約(1727), 伊犁条約(1851), 愛理条約(1851), 天津条約(1851)から, 中俄条約(1912)まで, 条文の収録。

社 会 科 学

經 済

- 600 井出季和太 334.5-I
南洋と華僑
三省堂 昭和16
304 P 20cm

財 政

- 601 會 仰豊 348.8-S
支那塩政史 吉村 正訳
大東出版 昭和16
377 P 22cm

社会学・社会問題

- 602 諸橋轍次 361.4-M
支那の家族制
大修館 昭和15
506 P 22cm

- 603 末光高義 361.4-S
支那の秘密結社と慈善結社
満洲評論社 昭和7
395 P 22cm

- 604 服部宇之吉 361.6-H
支那の国民性と思想
京文社 大正15
387 P 20cm

- 605 鳥山喜一 361.6-T
支那民族性論
1冊 21cm

- 606 郭 沫若 362.2-K
支那古代社会史論 藤枝丈夫訳
内外社 昭和6
466 P 22cm

- 607 和田 清 362.2-W
近代支那社会
光風館 昭和18
313 P 20cm

- 608 陳 顧遠 367.4-C
中国古代婚姻史
商務印書館 民国14 (1925)
148 P 20cm

教 育

- 609 張 之洞 370-C
勸学編
岸田吟香編輯並発行 明治32
51丁 18cm
注. 内篇中章は中学, 外篇15章は西学を中心とし, 中体西用を提唱し, 保守と革新との中間に立つ改良論である。

- 610 田内高次 371.2-T
支那教育学史
富山房 昭和17
545 P 21cm

- 611 趙 如珩 372.2-C
中国教育十年
大絃書院 昭和18
245 P 21cm

- 612 東亜同文書院大学史 377.2-T
滝友会 昭和30
338 P 22cm

- 613 実藤恵秀 377.6-S
中国人日本留学史稿
日華学会 昭和14
368 P 22cm

- 614 式場隆三郎 378.7-S
天才の発見
鱒書房 昭和31
222 P 19cm

風俗習慣・民俗学

- 615 吳 自牧 380.2-G
夢梁録 上、中、下
進歩書局
3冊 16cm
注. 宋時代(10~13世紀)の雜事を幅広く採集した一種の物識り事典。

- 616 文教部礼教司 382-B
満洲国礼俗調査彙編
康德3 (1936)
88 P 22cm

- 617 外務省文化事業部 382-G
黒竜江省に於ける風土及土著族に関する調査
昭和7
134 P 22cm

社 会 科 学

- 618 後藤朝太郎 382-G 629 支那住宅志 383.9-S
 大支那大系 8 (風俗趣味篇)
 614 P 19cm
 南滿洲鉄道 昭和7
 382 P 22cm
- 619 范 祖 382-H 630 後藤朝太郎 384-G
 杭俗遺風
 六芸書局 民国17 (1928)
 122 P 20cm
 歡樂の支那
 北隆館 大正4
 118 P 19cm
- 620 孫 君平 382-S 631 雪 叢 384.9-S
 老上海
 民友書局 民国17 (1928)
 92 P 20cm
 青樓集
 16, 21, 20丁 26cm
 注. 青樓集の他に板橋雜記(余懷著), 吳門画
 舫録(西溪山人著) 収録。
- 621 青木正児 382.2-A 632 湯頗公 384.9-T
 中華名物考
 春秋社 昭和34
 280 P 19cm
 香 夢 影
 北京天民報館
 50 P 19cm
 注. 遊里の風俗。
- 622 治安部參謀司調査課 382.2-C 633 敦 崇 386-T
 馴鹿鄂倫春族
 康德6 (1939)
 1冊 22cm
 燕京歲時記
 文德齋 光緒32 (1906)
 70 P 20cm
 注. 既刊「滿洲国に於ける鄂倫春族の研究」
 の続編という。参考資料にオロチョン語彙
 を付す。
- 623 治安部參謀司調査課 382.2-C 634 敦 崇 386.8-T
 滿洲に於ける鄂倫春族の研究
 康德6 (1939)
 1冊 22cm
 北京年中行事記
 岩波 昭和16
 282 P 15cm
- 624 加藤謙三郎 382.2-K 635 有高 巖 389-A
 北京風俗問答
 大阪屋号書店 昭和7
 222 P 19cm
 支那民族
 六盟館 昭和18
 209 P 21cm
- 625 滿洲事情案内所 382.2-M 636 旗田 巍 389-H
 滿洲国の習俗
 昭和10
 164 P 22cm
 支那民族發展史
 博文館 昭和16
 358 P 19cm
- 626 村田治郎 383-M 637 池尻 登 389-I
 支那の仏塔 再版
 富山房 昭和15
 145 P 19cm
 達斡爾族
 滿洲事情案内所 康德10 (1943)
 278 P 19cm
 注. 達斡爾(だううる)族(興安嶺周辺居住)
 の起源, 風俗, 習慣などの解説。
- 627 村田治郎 383-M 638 イクヴォール, B. R 389-I
 支那の仏塔
 富山房 昭和18
 145 P 18cm
 甘肅西藏邊疆地帯の民族 蓮井一雄訳
 帝国書院 昭和18
 195 P 19cm
- 628 森川六太郎 383.1-M 639 松田寿男 389-M
 日本衣服史
 猷文社 大正14
 263 P 19cm
 遊牧民の歴史
 福村書店 1952
 129 P 19cm